

図 1-44(1) ボーリング柱状図 (D-1)

(盛土：深度 0~13.00m, 旧表土：深度 13.00~21.40m)



図1-44(2) ボーリングコア写真 (D-1)
(盛土：深度0～13.00m, 旧表土：深度13.00～21.40m)

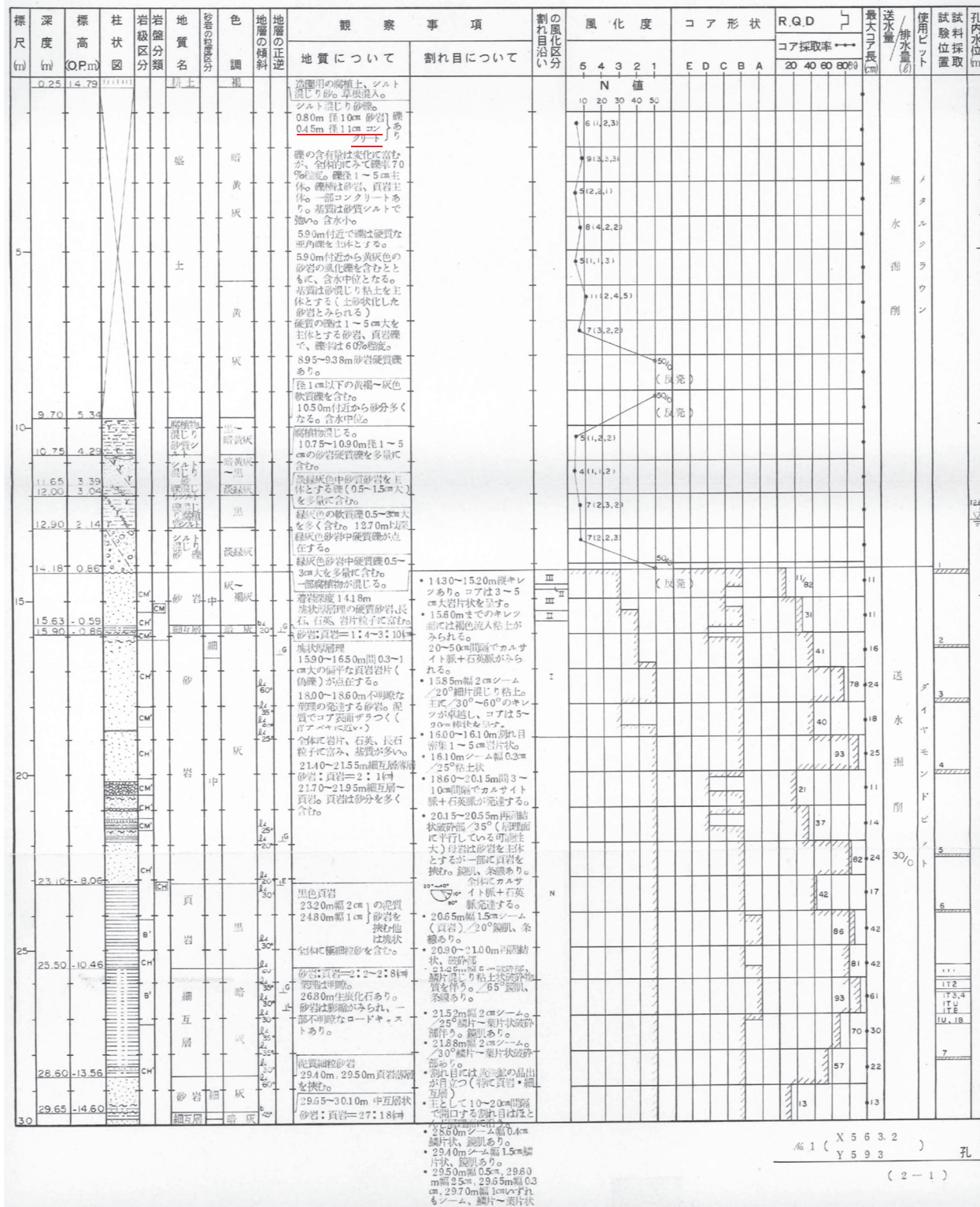


図 1-45(1) ボーリング柱状図 (No. 1)
 (盛土: 深度 0~9.70m, 旧表土: 深度 9.70~14.18m)



図 1-45(2) ボーリングコア写真 (No. 1)
(盛土：深度 0～9.70m, 旧表土：深度 9.70～14.18m)



図 1-46(1) ボーリング柱状図 (No. 2)
(盛土：深度 0~9.90m, 旧表土：深度 9.90~11.95m)



図 1-46(2) ボーリングコア写真 (No. 2)
(盛土：深度 0～9.90m, 旧表土：深度 9.90～11.95m)

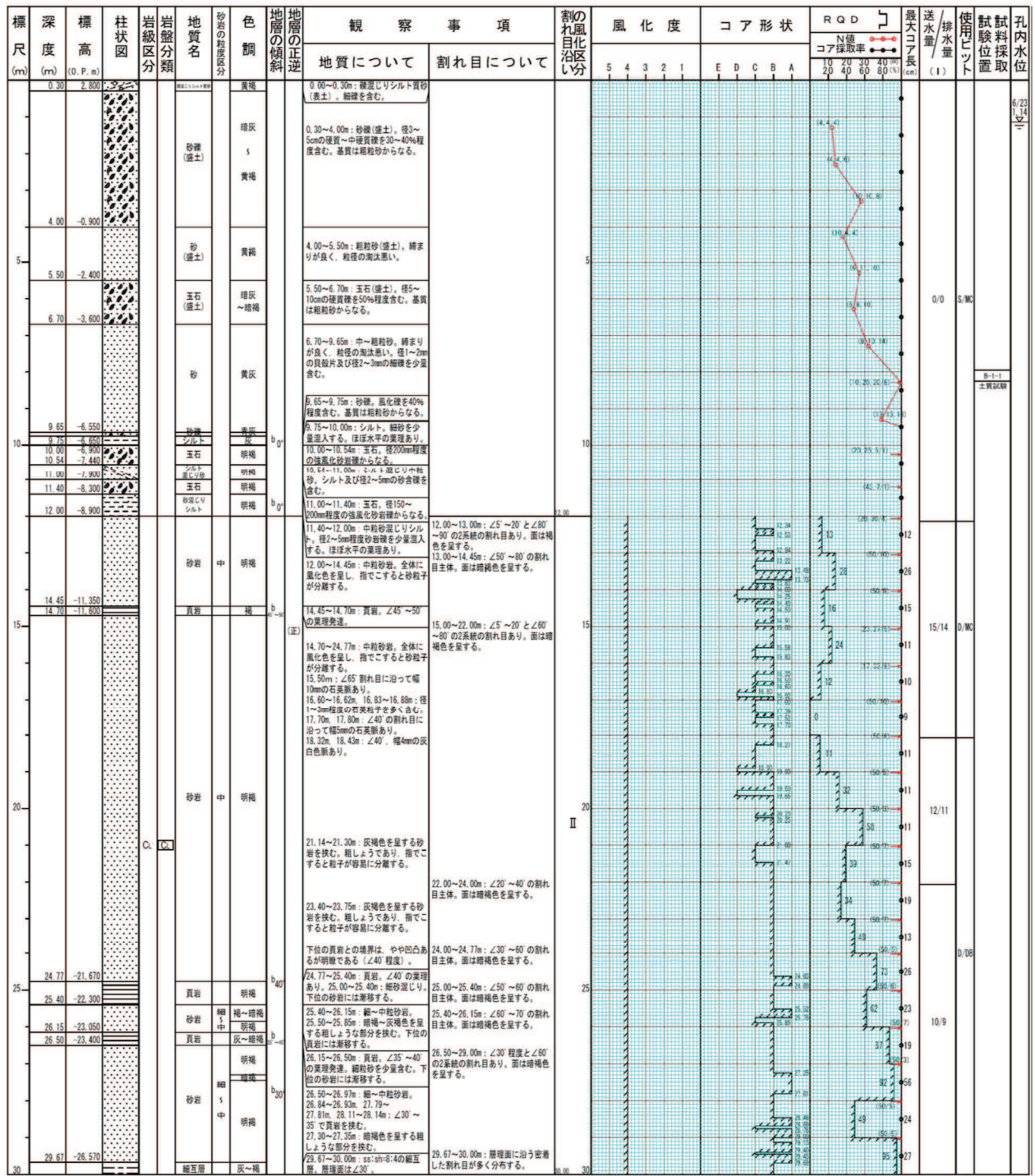


図 1-47(1) ボーリング柱状図 (23B-1)
(盛土: 深度 0~6.70m, 旧表土: 深度 6.70~12.00m)



図 1-47(2) ボーリングコア写真 (23B-1)
 (盛土：深度 0～6.70m, 旧表土：深度 6.70～12.00m)

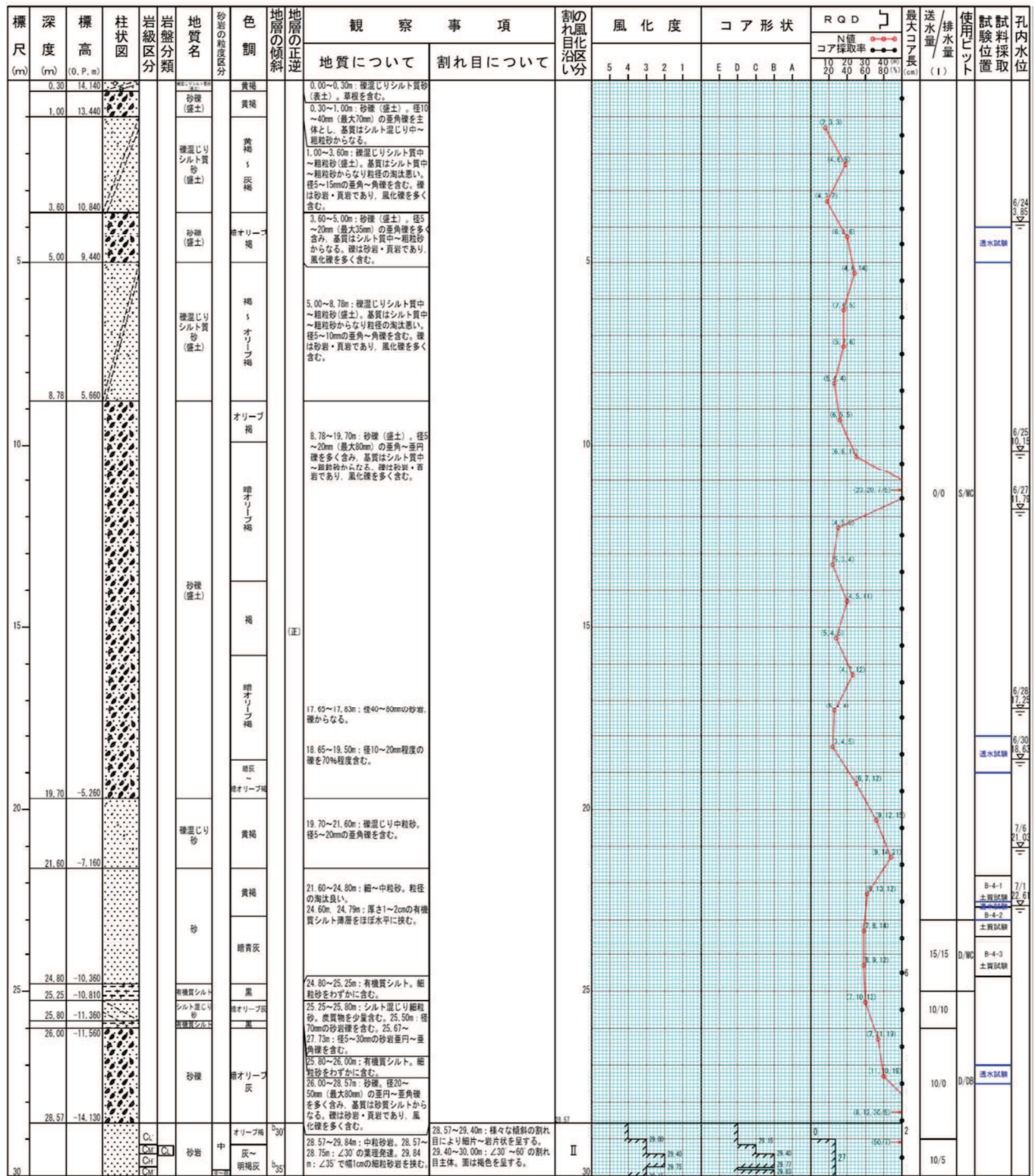


図 1-48(1) ボーリング柱状図 (23B-4)

(盛土: 深度 0~19.70m, 旧表土: 深度 19.70~28.57m)

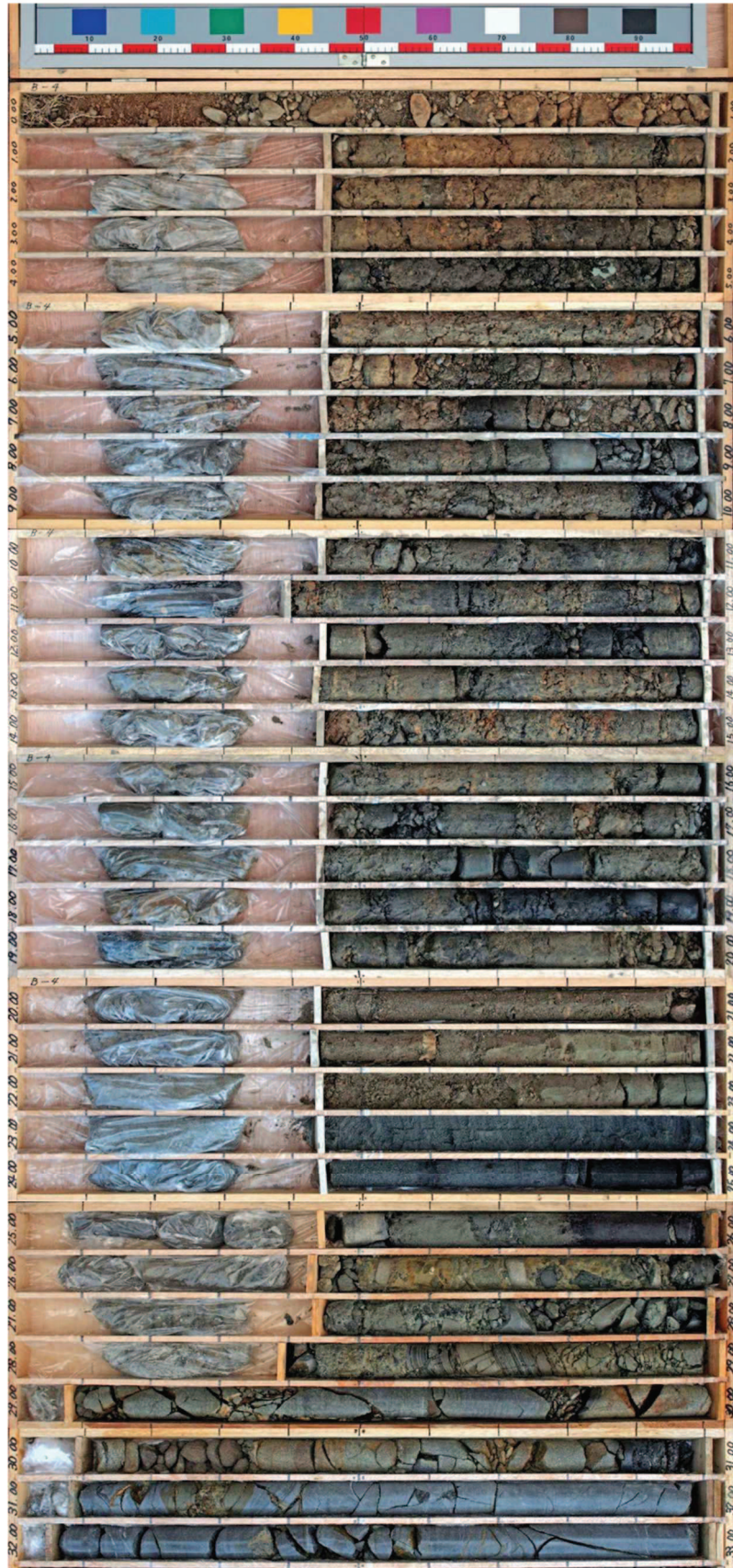


図 1-48(2) ボーリングコア写真 (23B-4)
(盛土：深度 0～19.70m, 旧表土：深度 19.70～28.57m)

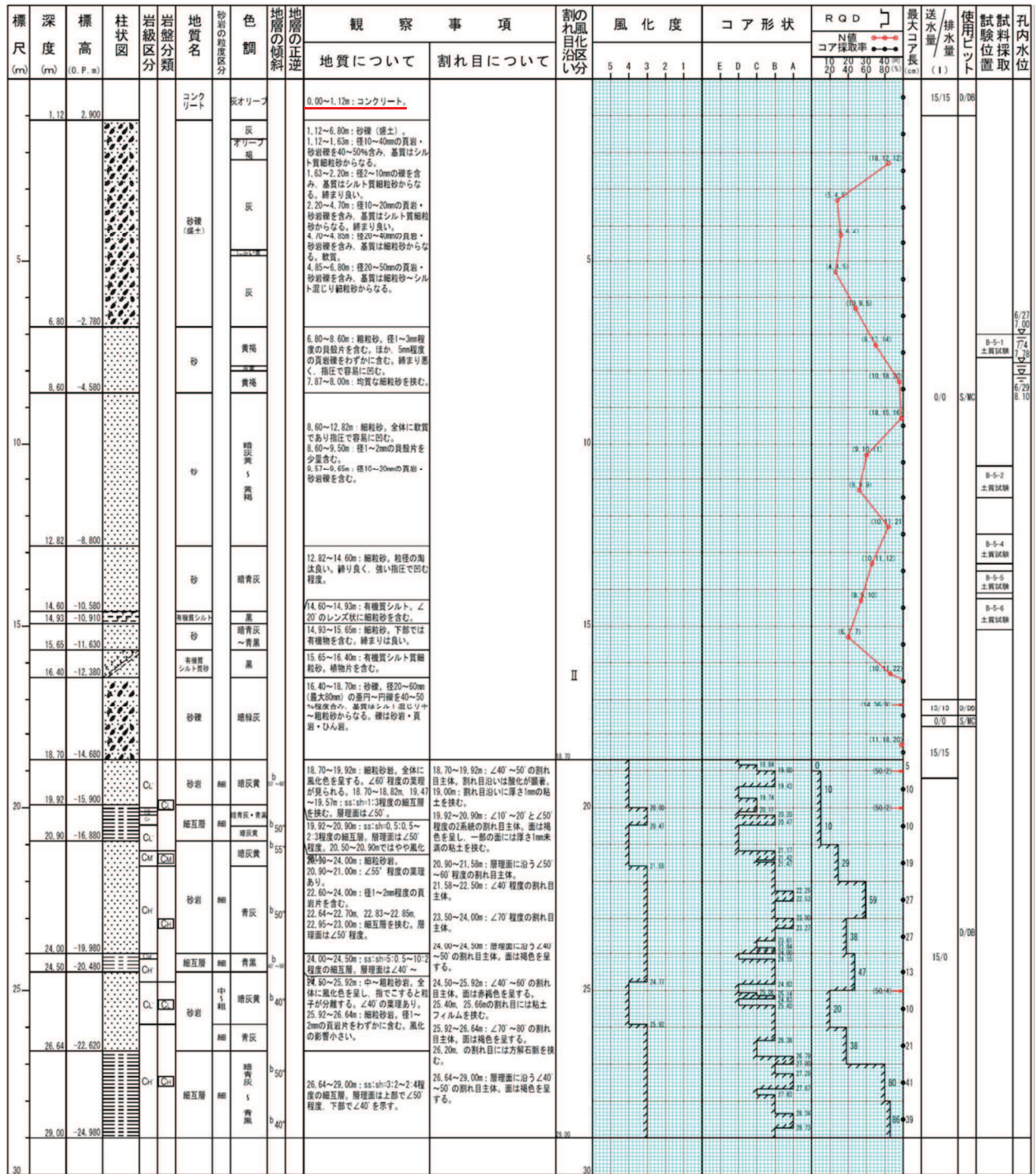


図 1-49(1) ボーリング柱状図 (23B-5)
(盛土: 深度 0~6.80m, 旧表土: 深度 6.80~18.70m)



図 1-49(2) ボーリングコア写真 (23B-5)
(盛土：深度 0～6.80m, 旧表土：深度 6.80～18.70m)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (O.P.m)	柱状図	岩盤分類	地質名	砂岩の粒度区分	色調	地層の正逆	観察事項		割れ目風化区分	風化度	コア形状	R Q D	最大コア長 (m)	送水量 / 排水量 (l)	使用ビット	試験位置	試験採取	孔内水位		
									地質について												割れ目について	
									5	4											3	2
0.07	14.430								0.00~0.07m: 細粒砂 (盛土), 粗物多量を含む。													
3.50	11.000				砂礫 (盛土)				0.07~3.50m: 砂礫 (盛土), 径5~50mmの角~亜角多量を含む。礫は砂岩・頁岩・ひん岩からなる。基質は中~細粒砂を主体とし、1.50~1.70mでは細粒砂を含む。粒径の測定悪い。全体に粘り多量で指圧で容易に凹むが、1.50~1.56m, 2.70~2.82mは中硬い。0.07~1.00mは部分的に堆積物を含む。													
4.86	9.640				硬質シルト質砂 (盛土)				3.50~4.86m: 硬質シルト質砂 (盛土)。細粒砂~シルト質細粒砂を主体とし、径2~10mm程度の角礫を含む。粘り多量で、強い指圧でわずかに凹む程度。													
5.67	8.830				砂礫 (盛土)				4.86~5.67m: 砂礫 (盛土), 径20~50mm程度の角~亜角多量を含む。礫は砂岩主体。基質は細~中粒砂主体。													
6.64	7.860				硬質シルト質砂 (盛土)				5.67~6.64m: 硬質シルト質砂 (盛土)。径2~4mm程度の角礫を5%程度含む。粘り多量。													
8.76	5.740				硬質砂 (盛土)				6.64~8.76m: 硬質細粒砂 (盛土)。径5~20mm程度の角礫を20~25%程度含む。一部で中粒砂やシルトを含む程度。測定悪い。礫は砂岩・頁岩。粘り多量。													
10.67	3.830				硬質シルト質砂 (盛土)				8.76~10.67m: 硬質シルト質砂 (盛土)。中粒砂 (盛土)。径2~10mm程度の角~角礫を5%程度含む。礫は頁岩・砂岩。粒径の測定悪い。													
11.38	3.120				砂礫 (盛土)				10.67~11.38m: 砂礫 (盛土), 径10~20mm (最大30mm) 角礫多量を含む。礫は砂岩・頁岩。基質は中~細粒砂主体で11.00m以下はシルト分を含む。													
15.00	-0.500				硬質シルト質砂 (盛土)				11.38~15.00m: 硬質シルト質砂 (盛土)。径10mm以下の角~角礫を含む。11.86~12.20m, 12.50~12.68m, 12.80~12.85m, 13.78~13.88m, 14.35~14.54m: 有機質シルトを含む。粒径の測定悪く指圧で凹む程度に軟質。													
18.21	-3.810				砂				15.00~18.21m: 細粒砂, 径1~2mm程度の角礫片を含む。粒径の測定悪い。塊状無層理。15.50~15.65m: 細粒砂を含む。													
20.45	-8.400				砂礫				18.21~20.45m: 砂礫, 径5~50mm (最大50mm) の角礫多量を含む。礫は砂岩・頁岩。基質は細粒砂主体。全体にコアは指圧で容易に凹む程度に軟質。													
22.90	-9.450				硬質シルト質砂				20.45~22.90m: 硬質シルト質砂 (盛土)。径10~20mm (最大30mm) 角礫多量を含む。19.73~20.00m, 20.81~21.00m, 21.58~21.72m, 22.50~22.68m: 指圧で凹まない程度に粘り多量。測定悪い。細粒砂を含む。													
25.95	-11.450				シルト質砂				22.90~25.95m: 硬質シルト質砂 (盛土)。径2~5mm程度の角礫を3~5%程度含む。礫は頁岩・砂岩。粘り多量。													
27.35	-12.850				有機質シルト				25.95~27.35m: 中粒砂, 粒径の測定及びコアの粘り多量。													
28.50	-14.000				砂礫				27.35~28.50m: シルト質細粒砂 (盛土)。炭化物を少量含む。													
					硬質シルト質砂				28.50~30.14m: 砂礫, 径10~40mmの角礫を50%程度含む。礫は砂岩主体。基質は細粒砂主体。													
					硬質シルト質砂				30.14~30.95m: 頁岩, 70°~75°の葉理あり。													
					砂岩				30.95~34.32m: 中~細粒砂。全体に風化色を呈するが、指でこすった程度では砂粒は分離しない。													

(深度 33m 以深には岩盤が連続しており、ここではこの区間の柱状図とコア写真を割愛)

図 1-50(1) ボーリング柱状図 (23B-6)

(盛土: 深度 0~15.00m, 旧表土: 深度 15.00~30.14m)



図 1-50(2) ボーリングコア写真 (23B-6)
 (盛土：深度 0～15.00m, 旧表土：深度 15.00～30.14m)

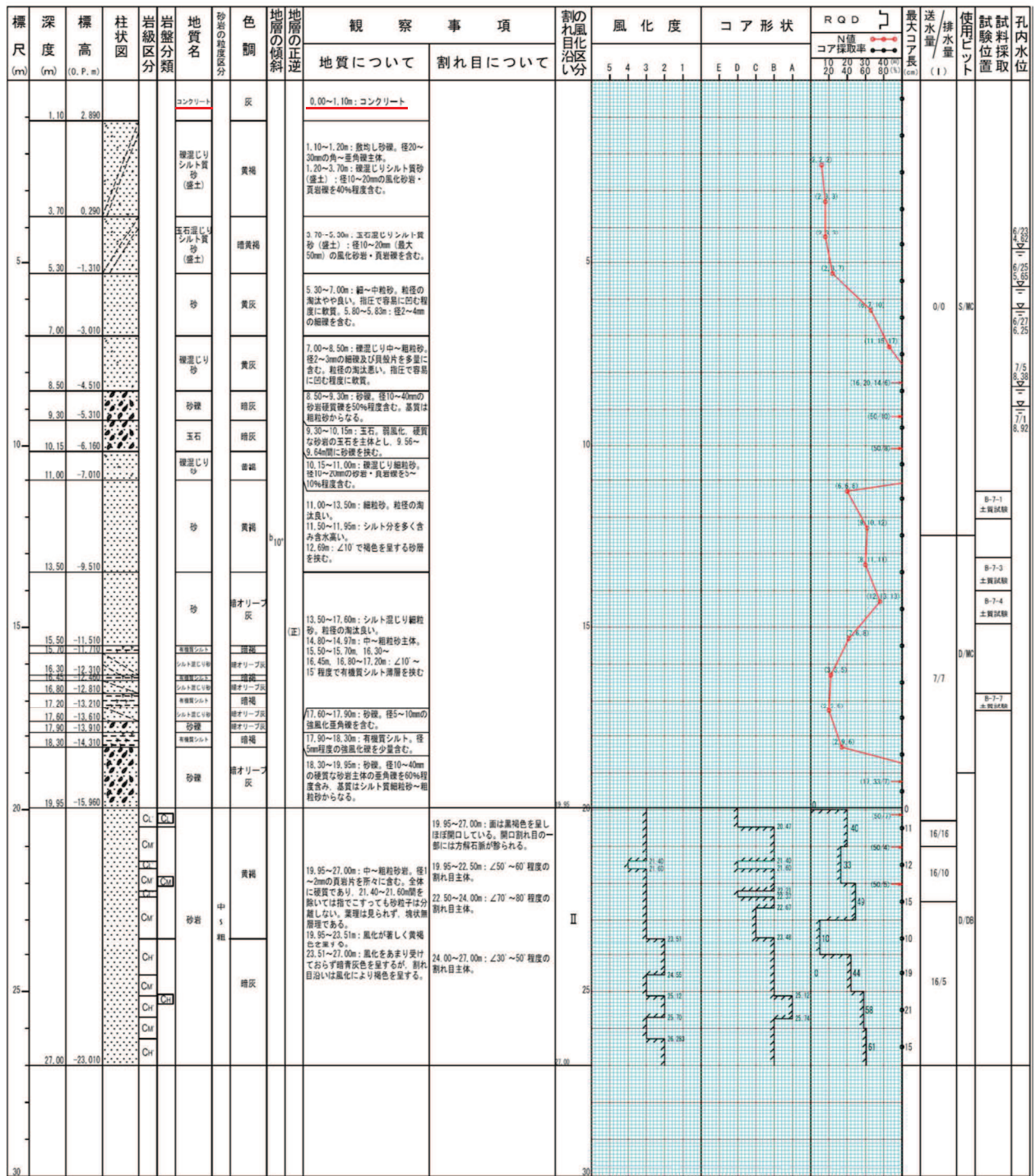


図 1-51(1) ボーリング柱状図 (23B-7)
(盛土: 深度 0~5.30m, 旧表土: 深度 5.30~19.95m)



図 1-51(2) ボーリングコア写真 (23B-7)
(盛土 : 深度 0~5.30m, 旧表土 : 深度 5.30~19.95m)

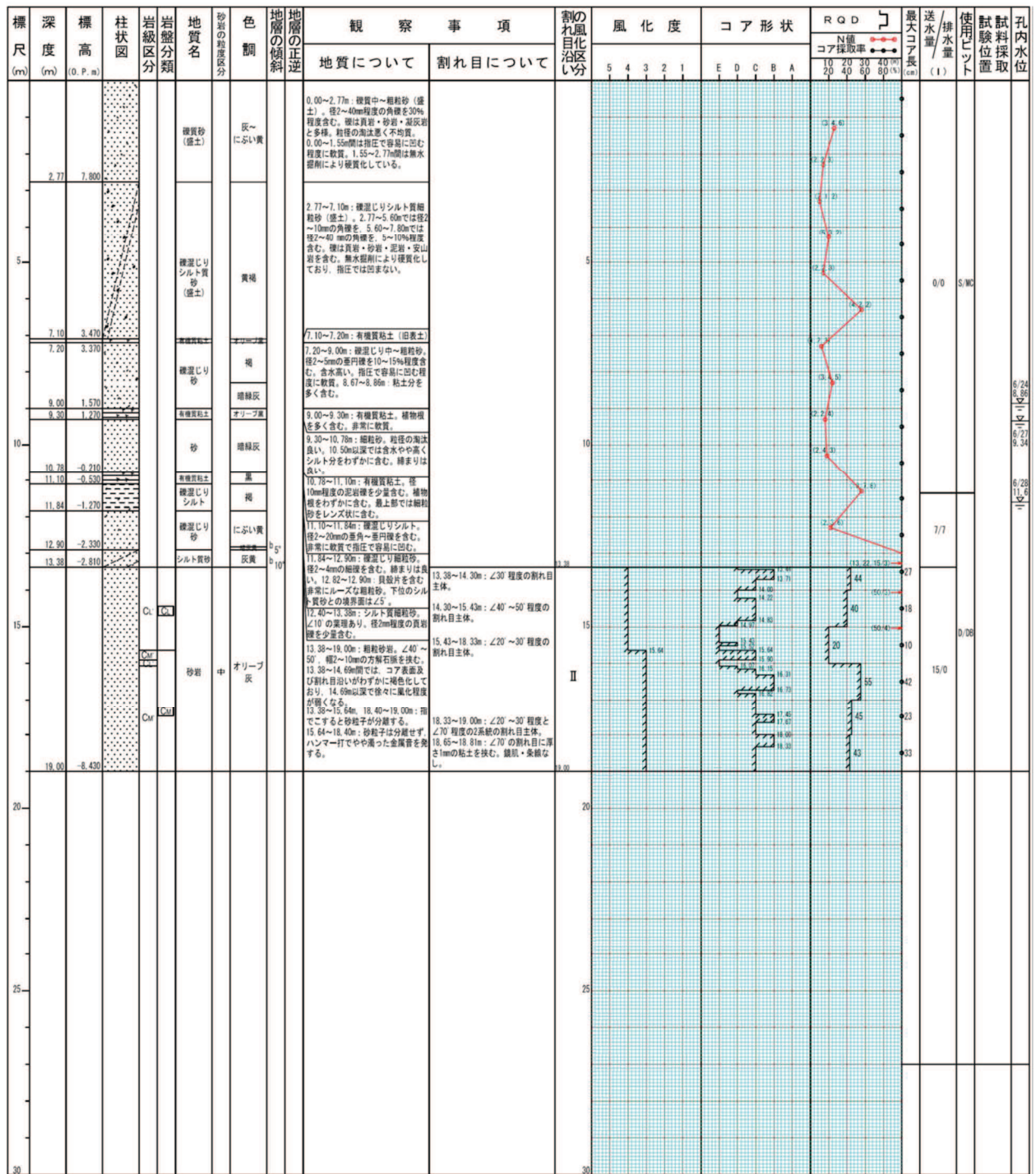


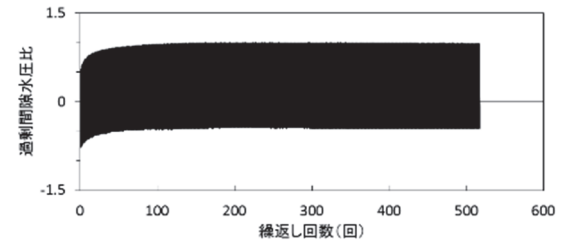
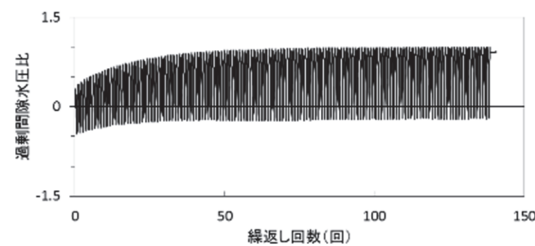
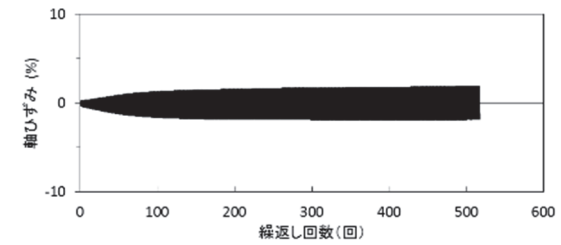
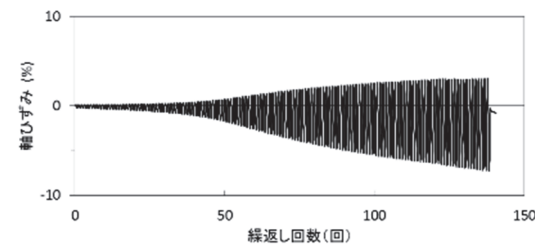
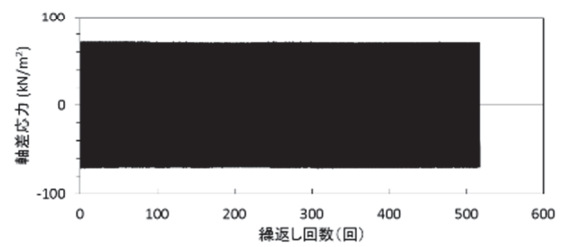
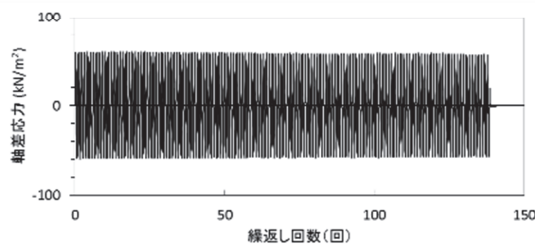
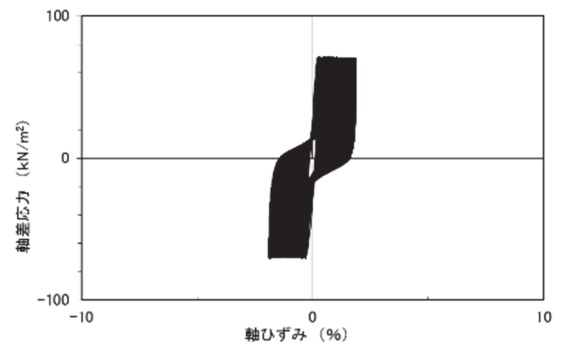
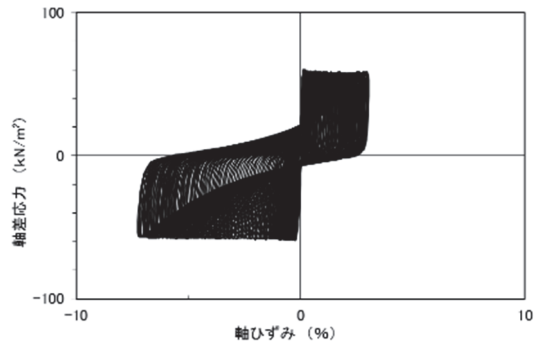
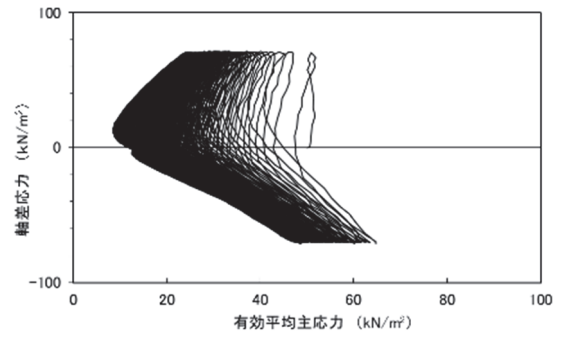
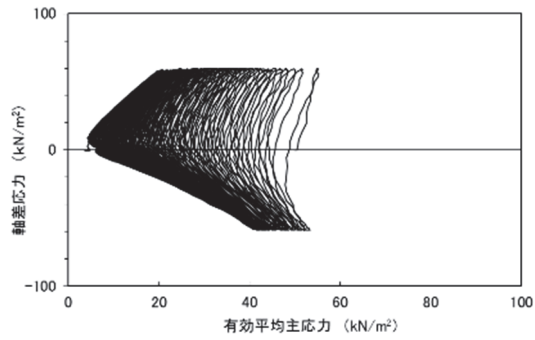
図 1-52(1) ボーリング柱状図 (23B-9)
(盛土: 深度 0~7.10m, 旧表土: 深度 7.10~13.38m)



図 1-52(2) ボーリングコア写真 (23B-9)
(盛土：深度 0～7.10m, 旧表土：深度 7.10～13.38m)

2. 液状化強度試験結果

2.1 盛土の液状化強度試験結果

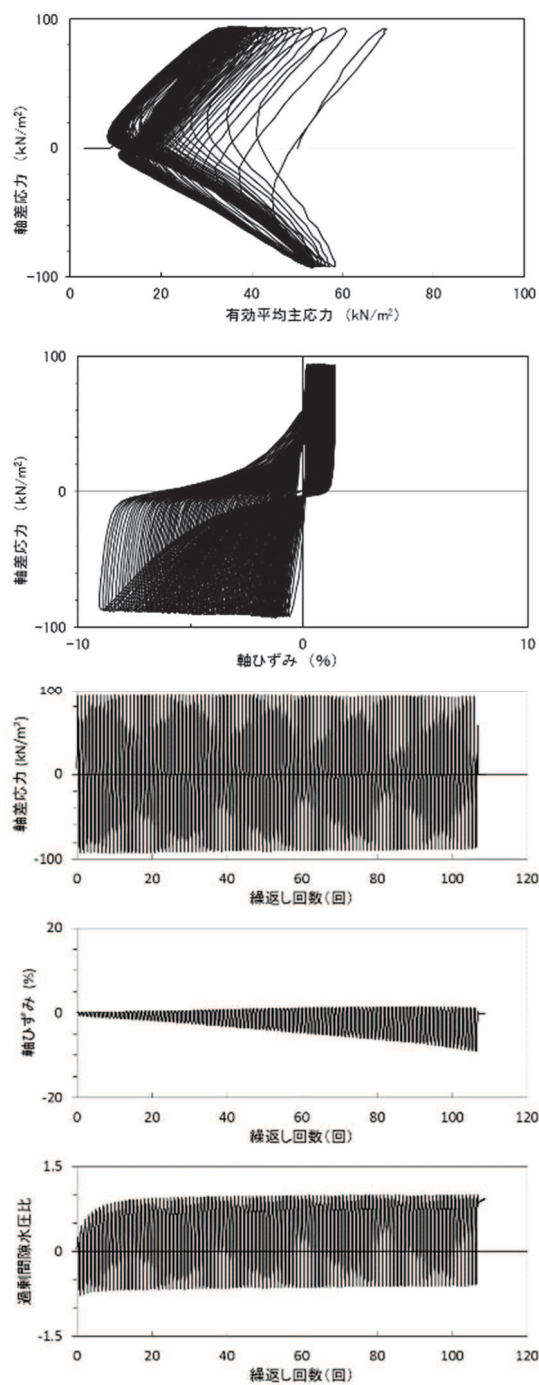


試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

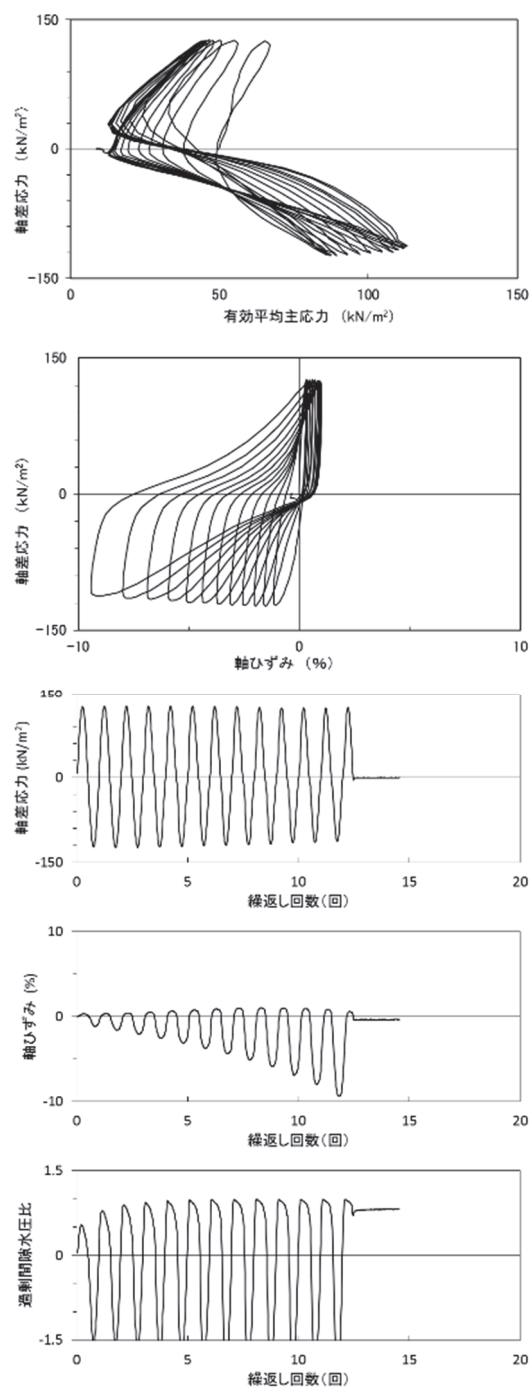
図 2. 1-1 液状化強度試験結果
(B-1-1 試料 (供試体 No. 1))

図 2. 1-2 液状化強度試験結果
(B-1-1 試料 (供試体 No. 2))



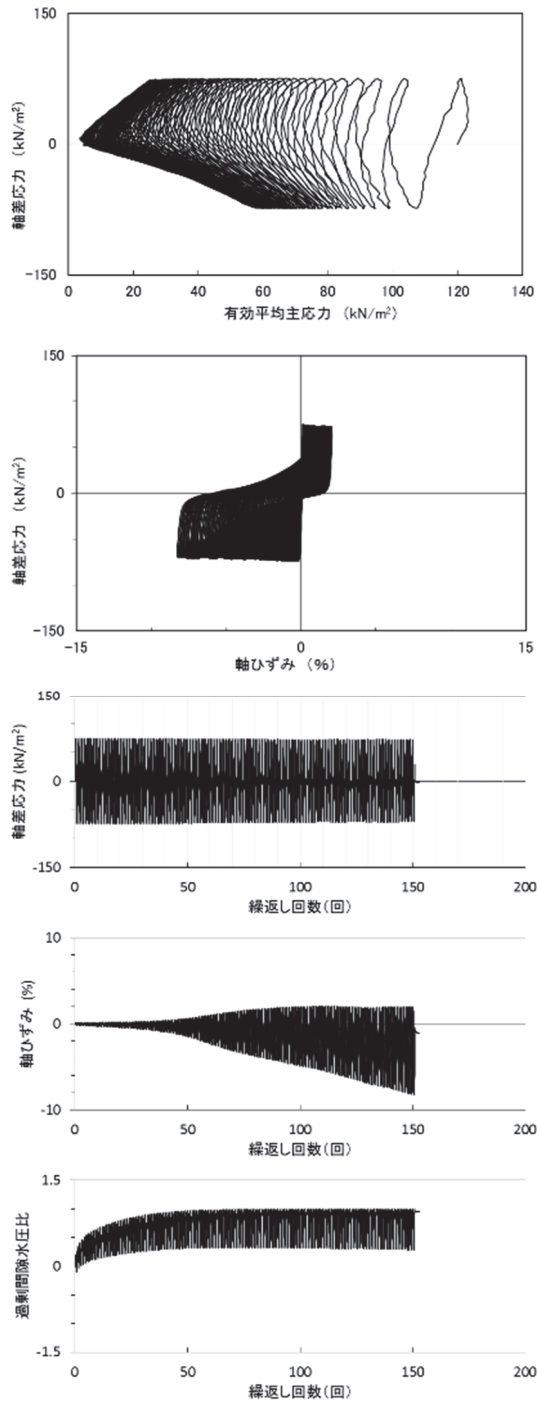
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-3 液状化強度試験結果
(B-1-1 試料 (供試体 No. 3))



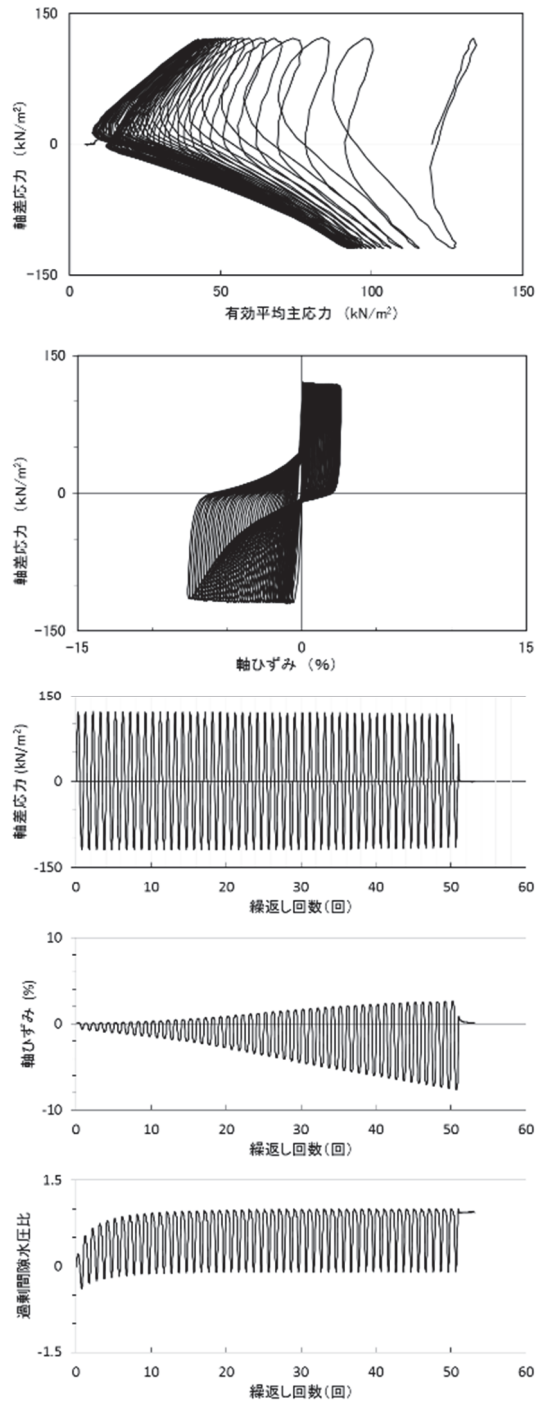
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-4 液状化強度試験結果
(B-1-1 試料 (供試体 No. 4))



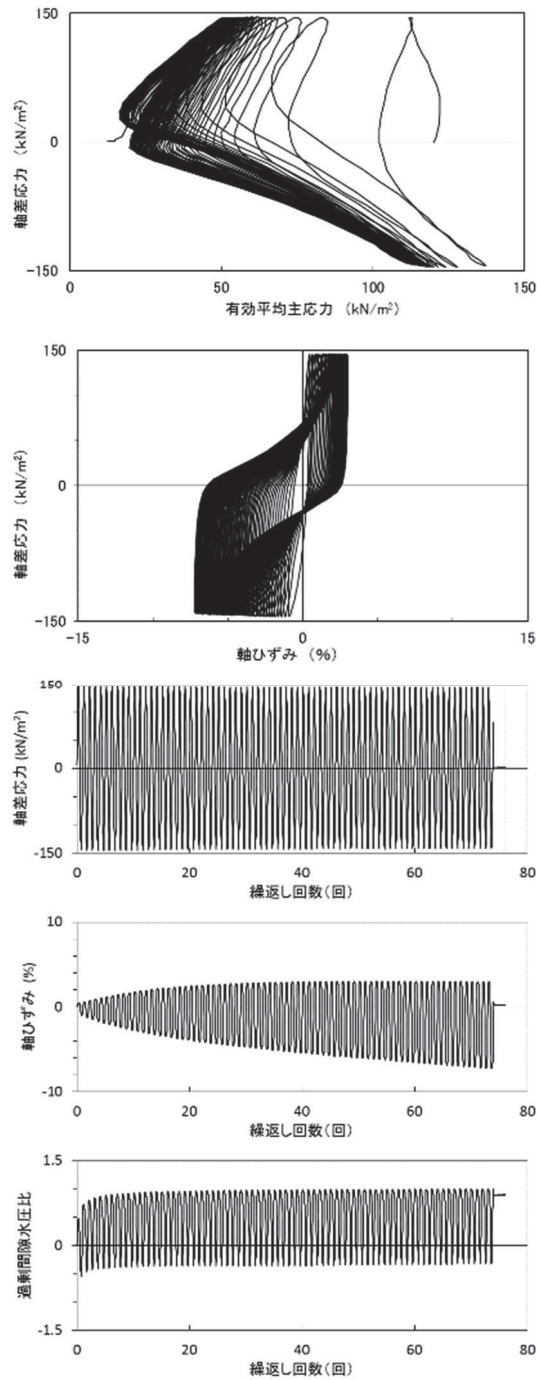
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-5 液状化強度試験結果
(B-1-2 試料 (供試体 No. 1))



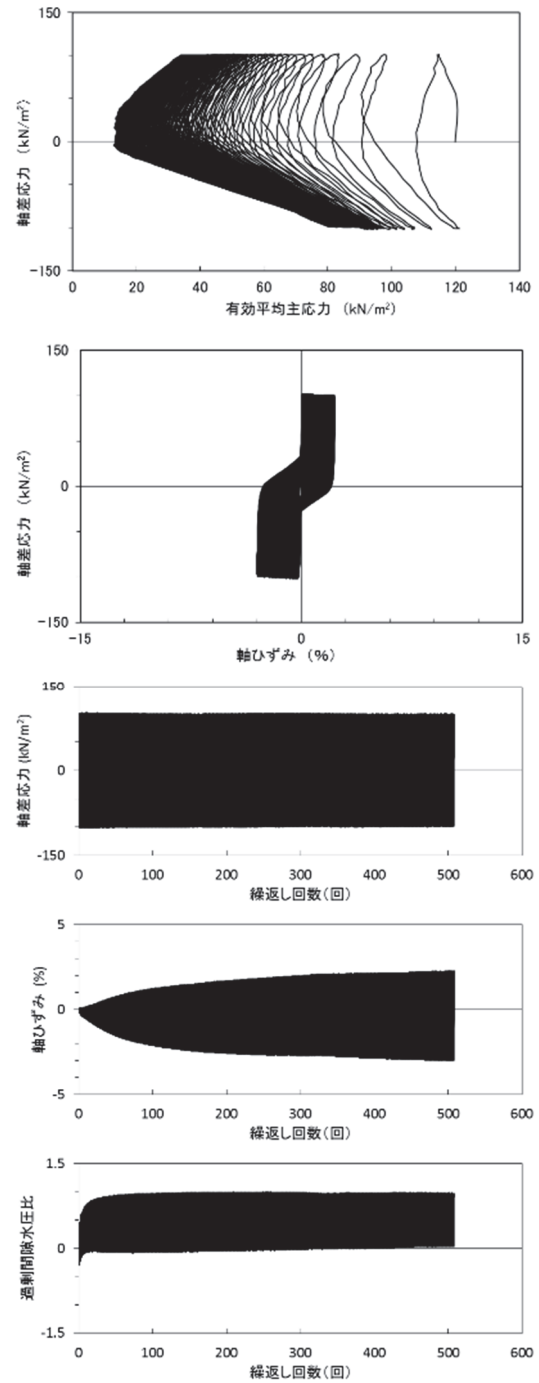
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-6 液状化強度試験結果
(B-1-2 試料 (供試体 No. 2))



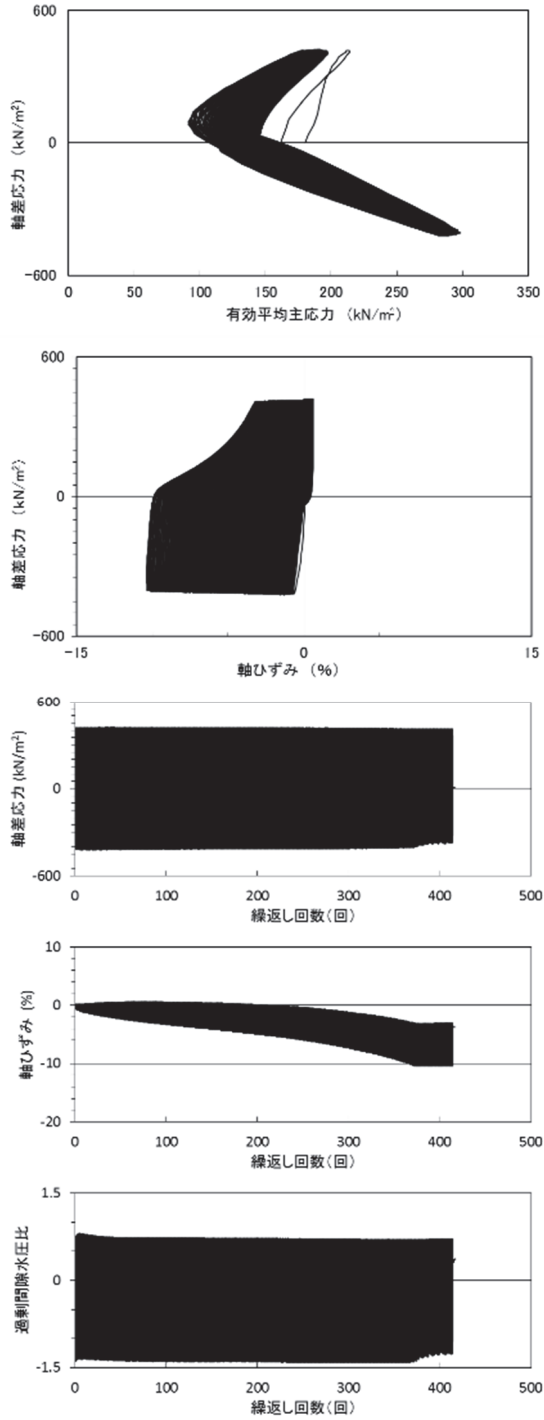
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-7 液状化強度試験結果
(B-1-2 試料 (供試体 No. 3))



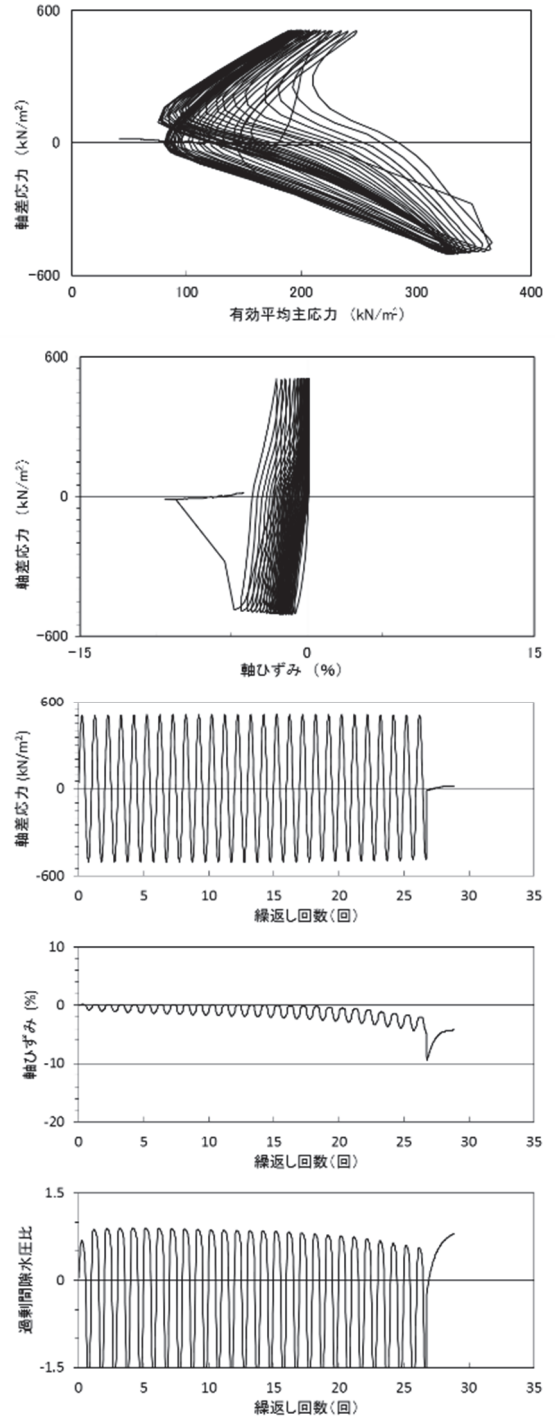
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-8 液状化強度試験結果
(B-1-2 試料 (供試体 No. 4))



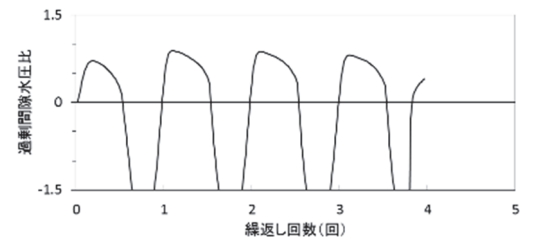
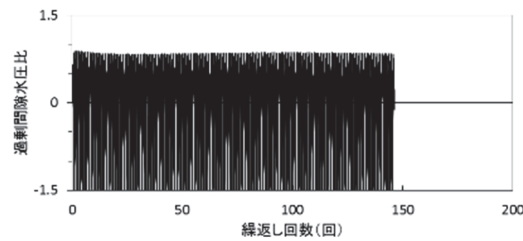
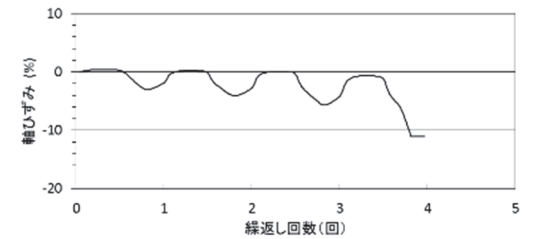
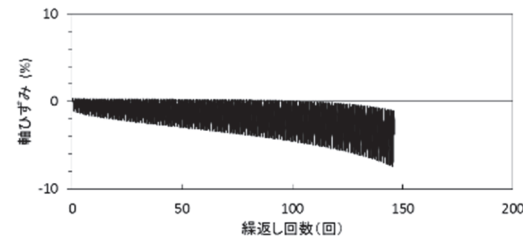
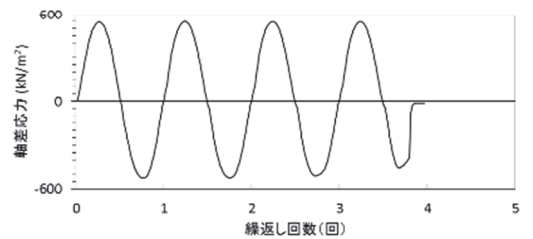
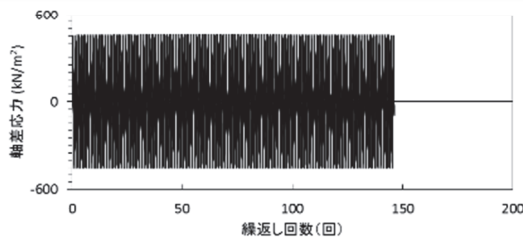
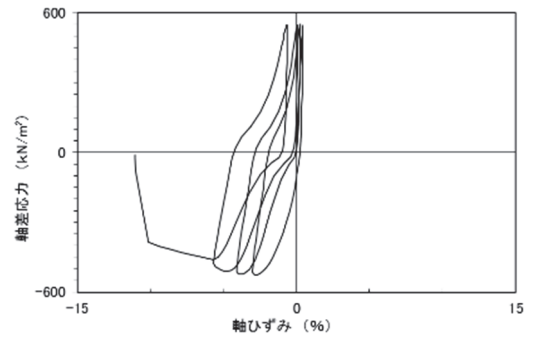
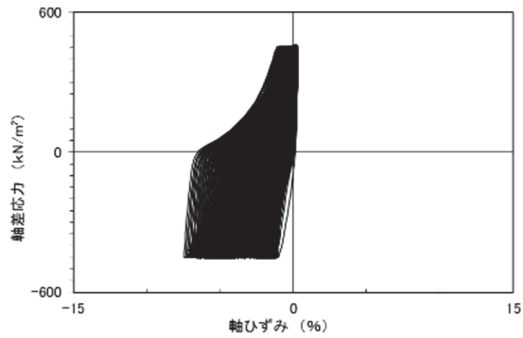
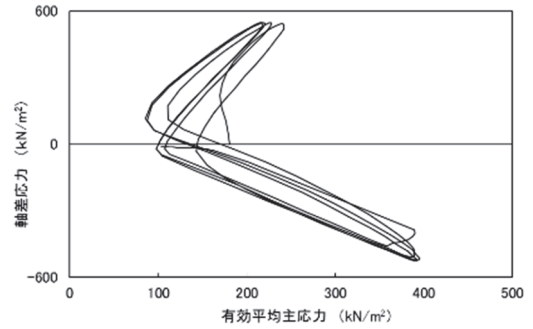
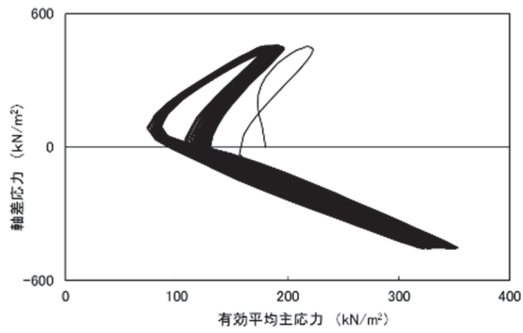
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-9 液状化強度試験結果
(B-1-3 試料 (供試体 No. 1))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-10 液状化強度試験結果
(B-1-3 試料 (供試体 No. 2))



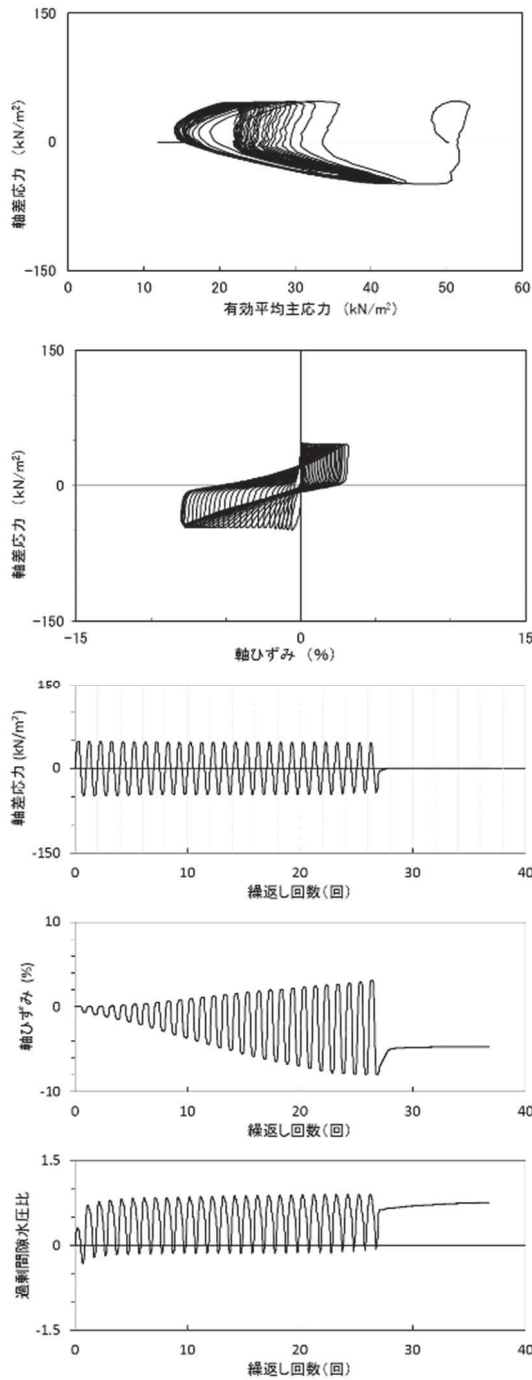
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×※	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

※応力振幅が大きいことによるひずみ発生

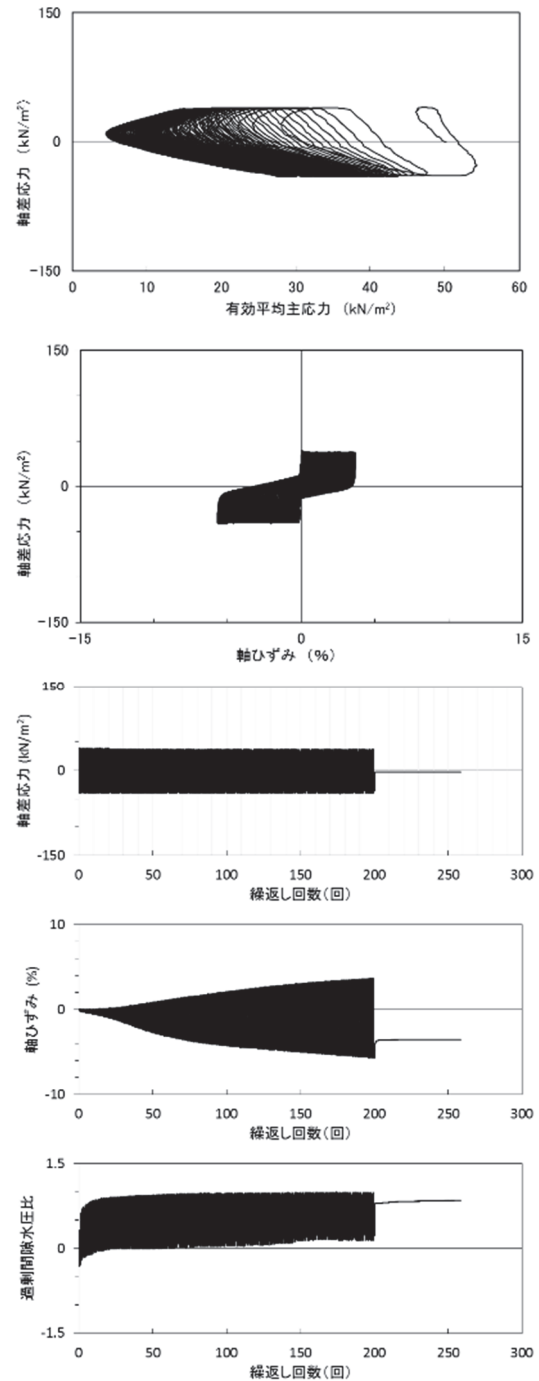
図 2.1-11 液状化強度試験結果
(B-1-3 試料 (供試体 No. 3))

図 2.1-12 液状化強度試験結果
(B-1-3 試料 (供試体 No. 4))



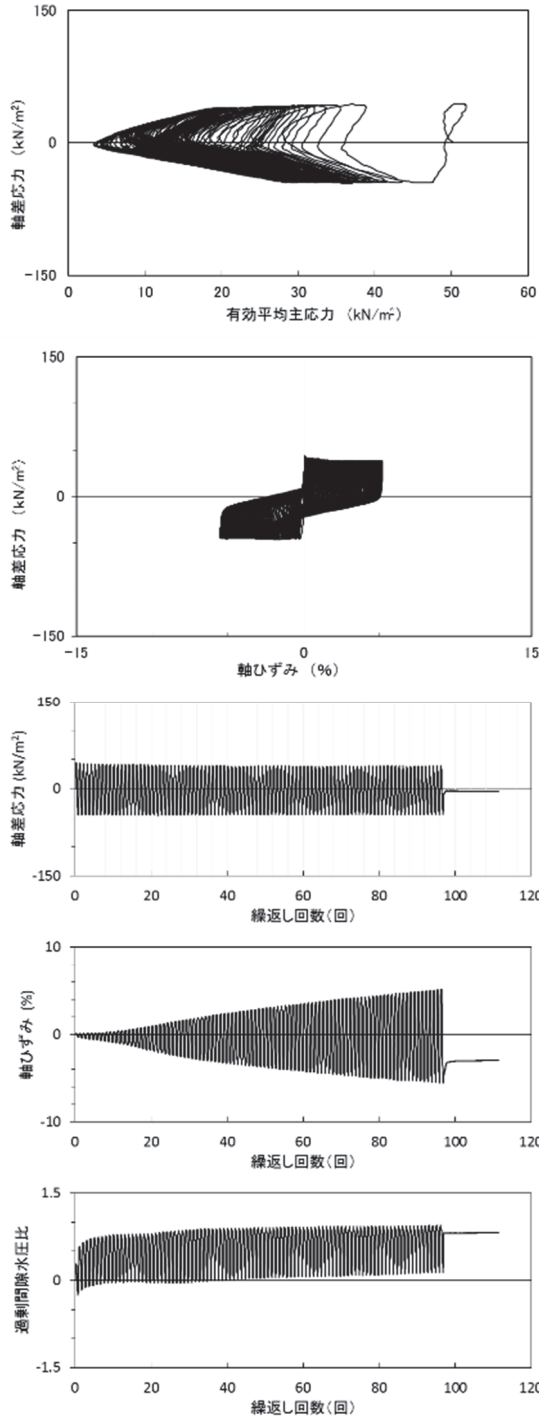
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-13 液状化強度試験結果
(B-1-4 試料 (供試体 No. 1))



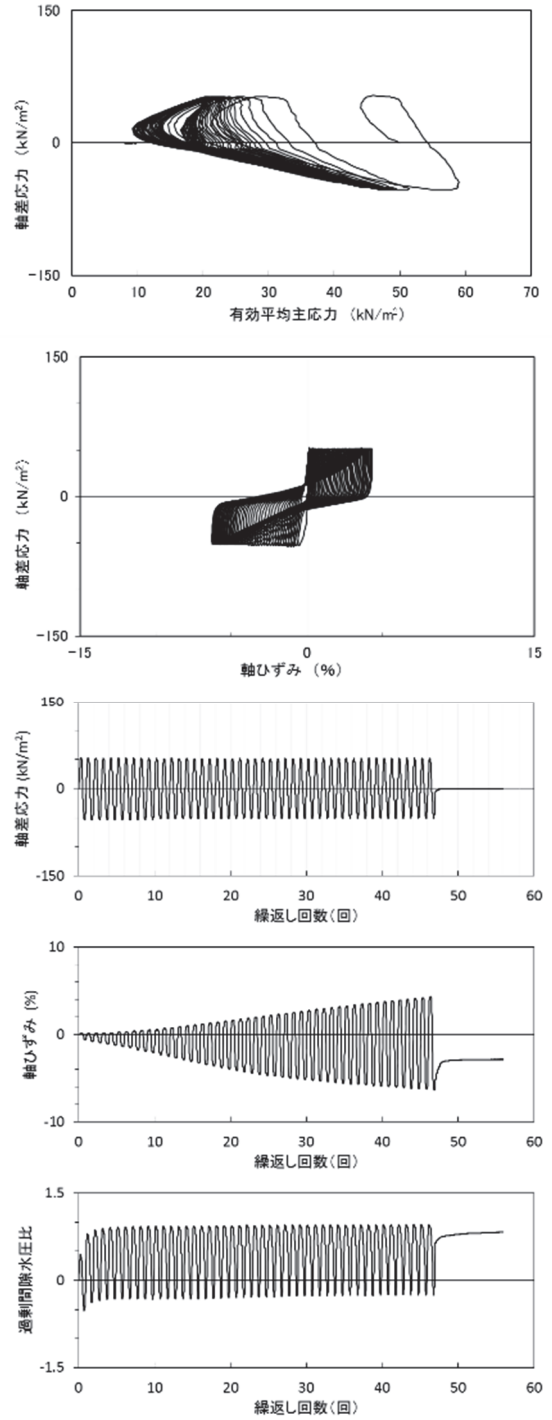
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-14 液状化強度試験結果
(B-1-4 試料 (供試体 No. 2))



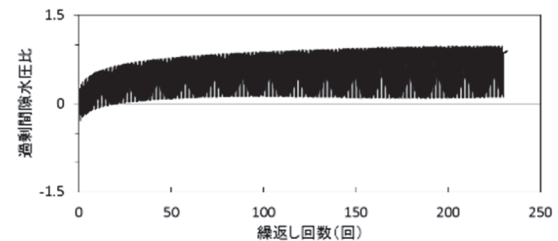
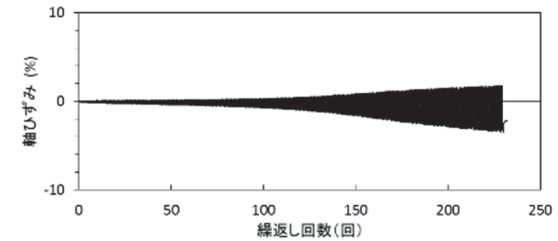
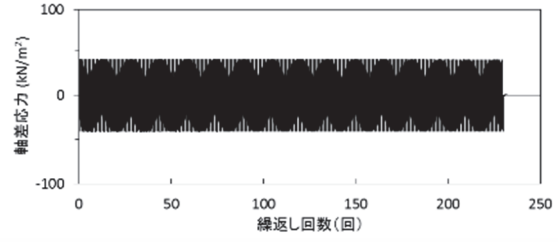
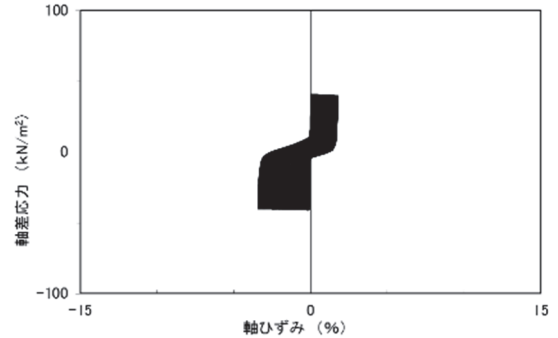
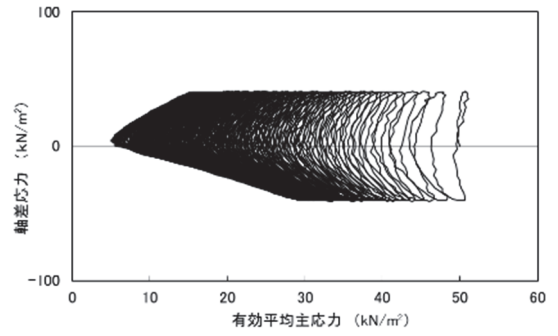
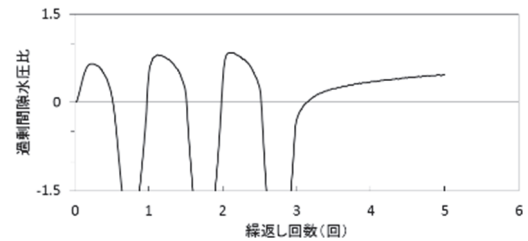
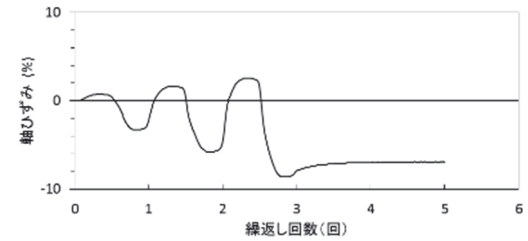
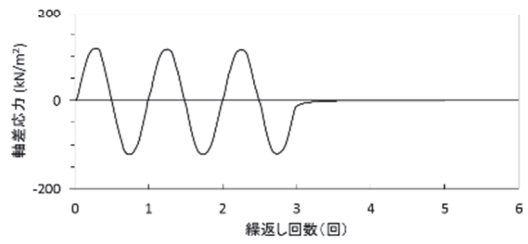
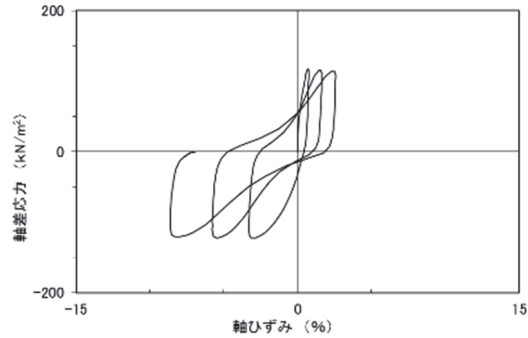
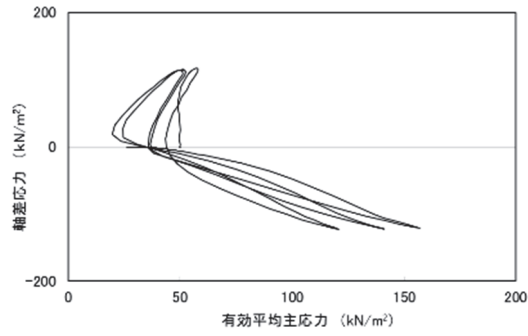
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-15 液状化強度試験結果
(B-1-4 試料 (供試体 No. 3))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-16 液状化強度試験結果
(B-1-4 試料 (供試体 No. 4))

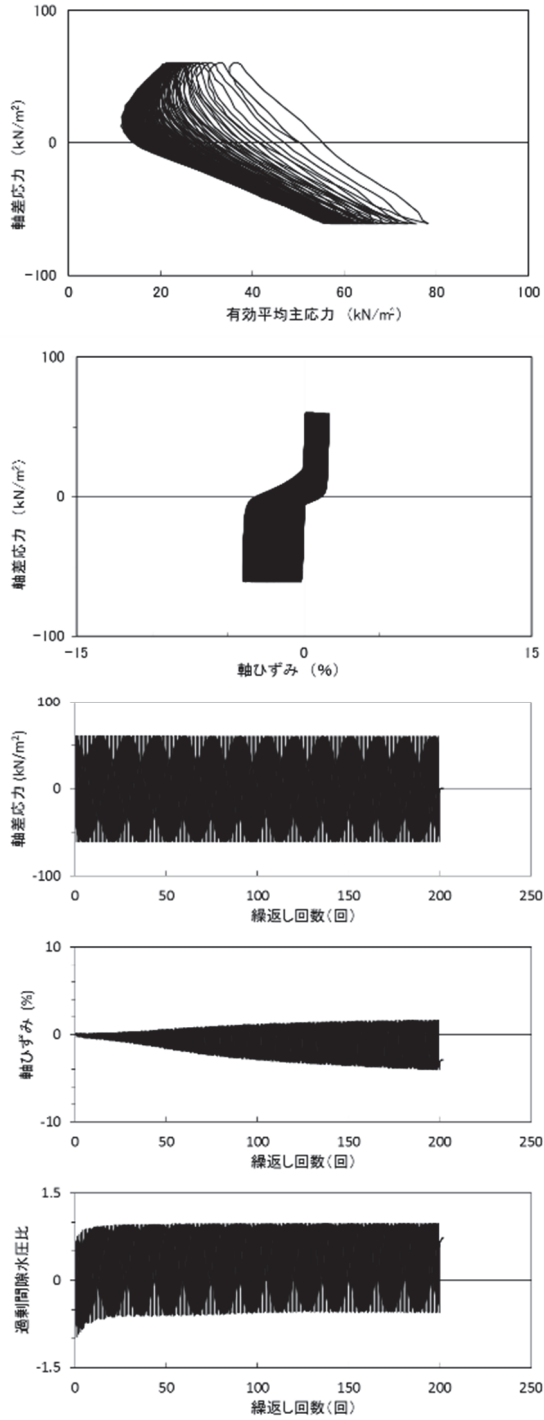


試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンシー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-17 液状化強度試験結果
(B-2-1 試料 (供試体 No. 1))

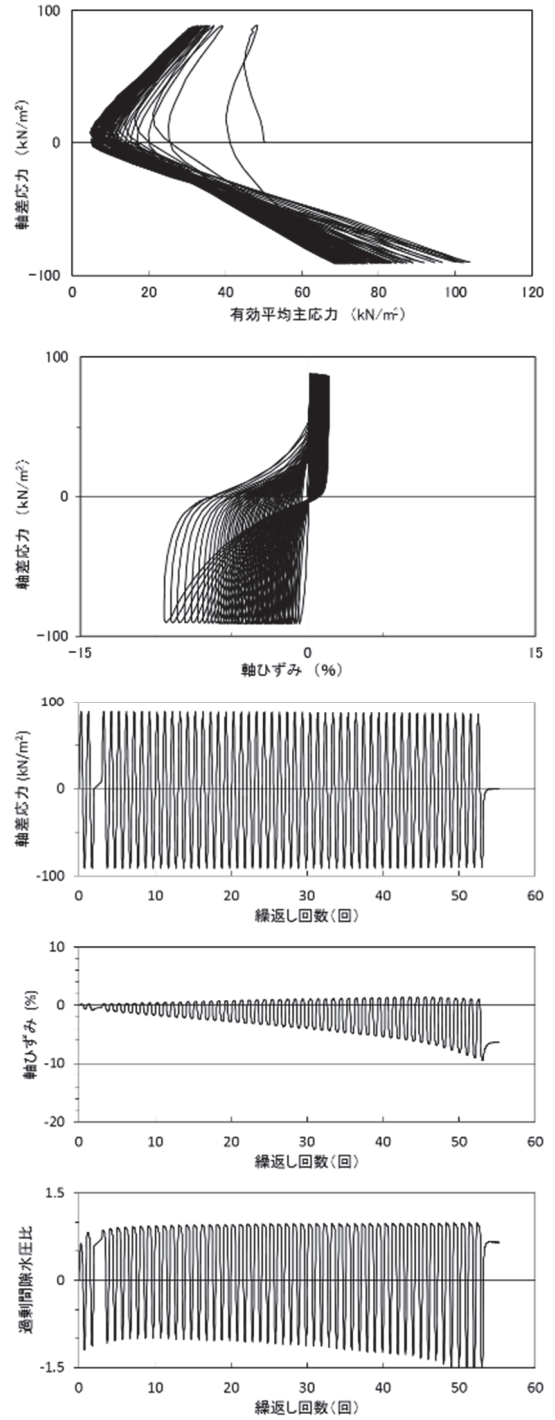
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンシー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-18 液状化強度試験結果
(B-2-1 試料 (供試体 No. 2))



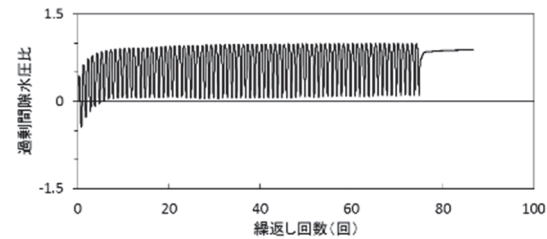
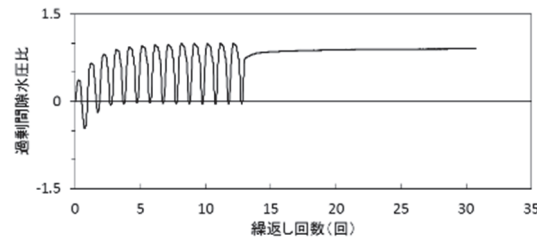
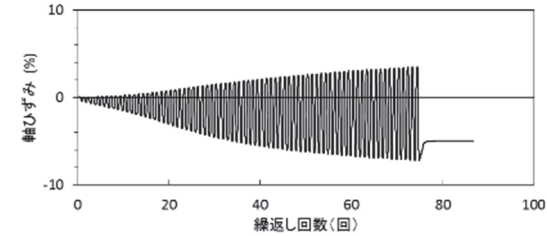
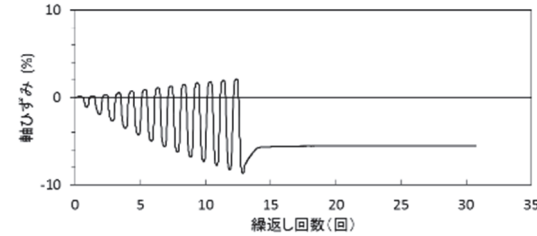
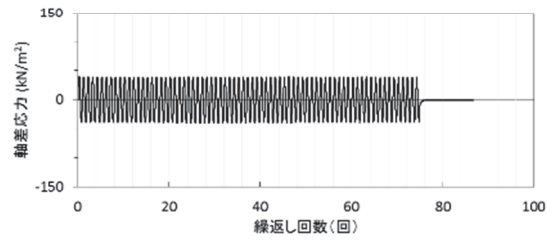
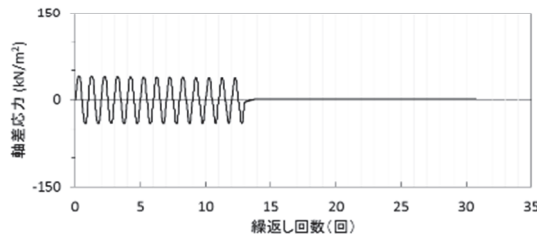
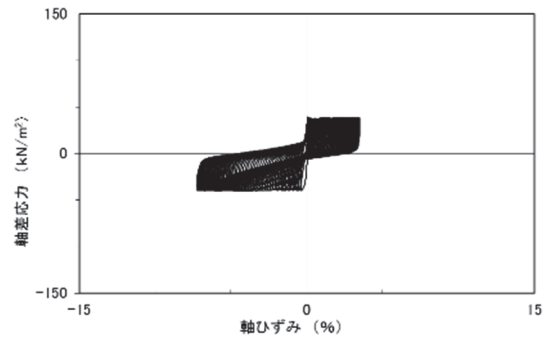
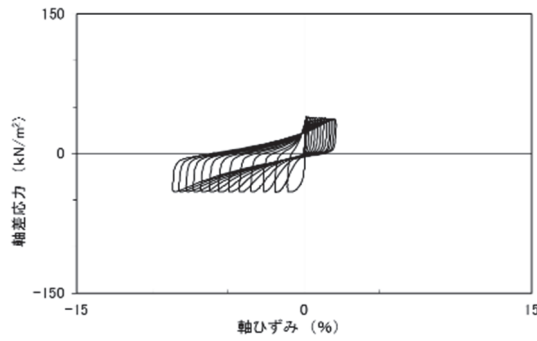
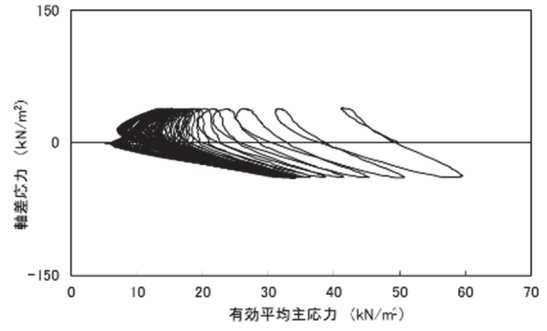
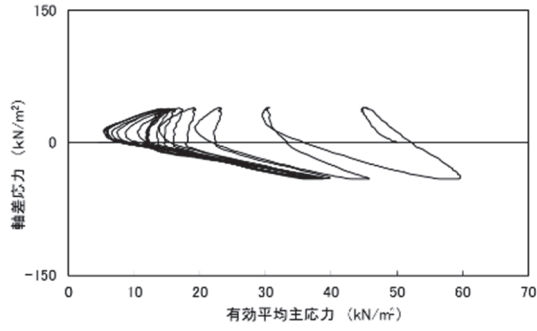
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-19 液状化強度試験結果
(B-2-1 試料 (供試体 No. 3))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-20 液状化強度試験結果
(B-2-1 試料 (供試体 No. 4))

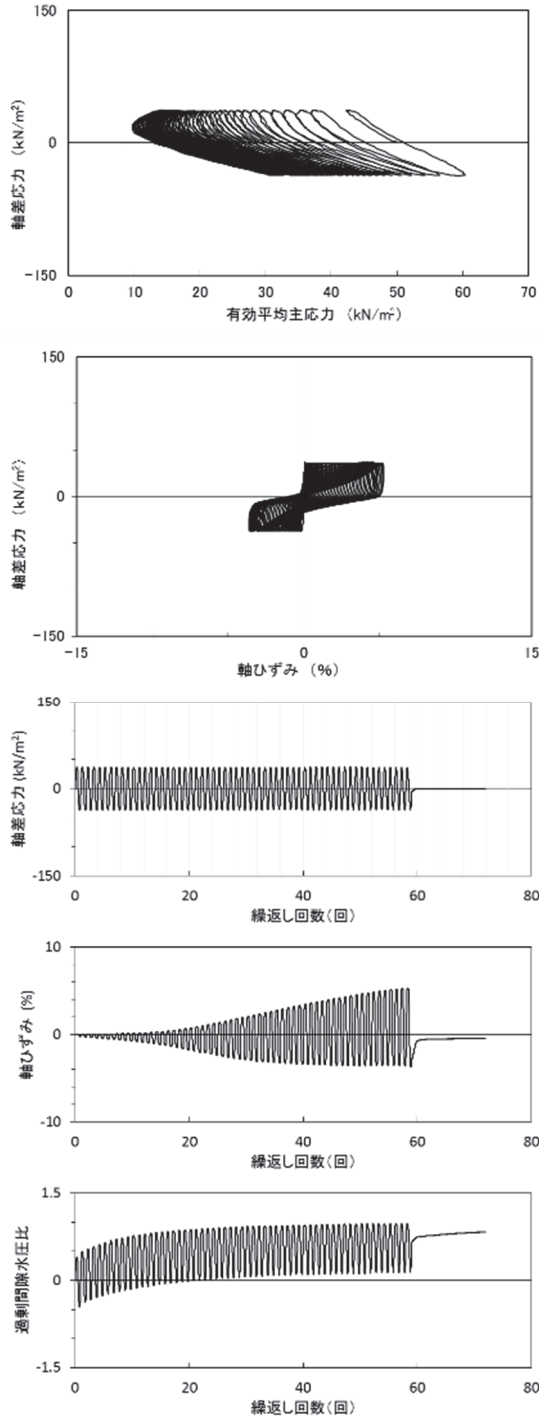


試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

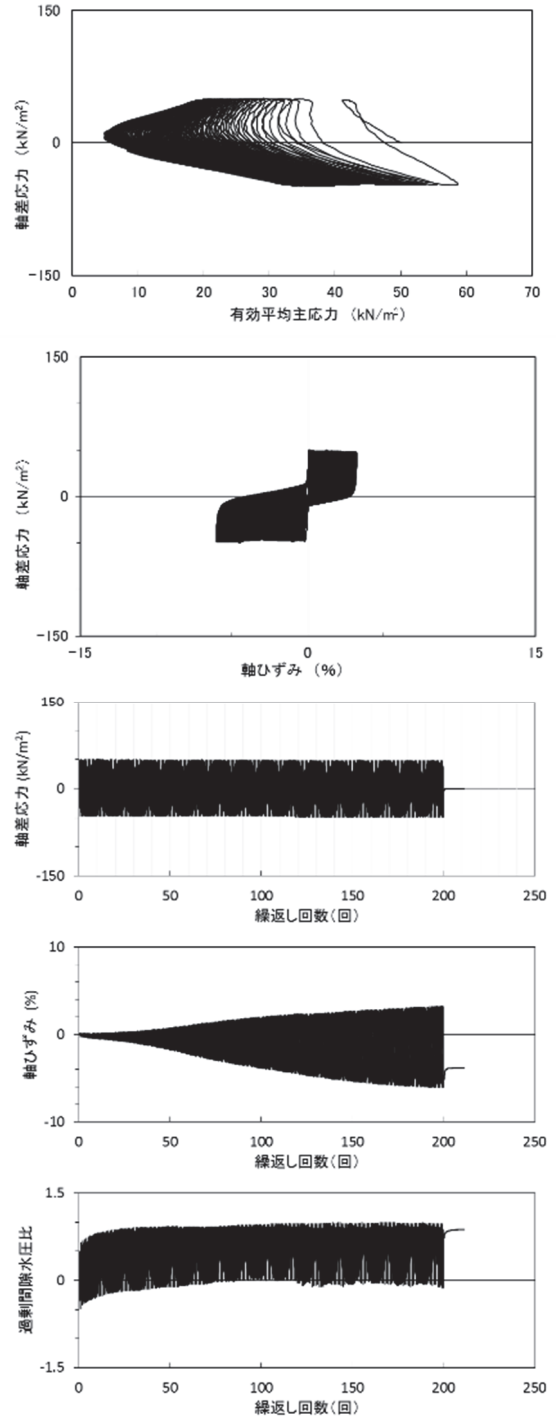
図 2.1-21 液状化強度試験結果
(B-2-2 試料 (供試体 No. 1))

図 2.1-22 液状化強度試験結果
(B-2-2 試料 (供試体 No. 2))



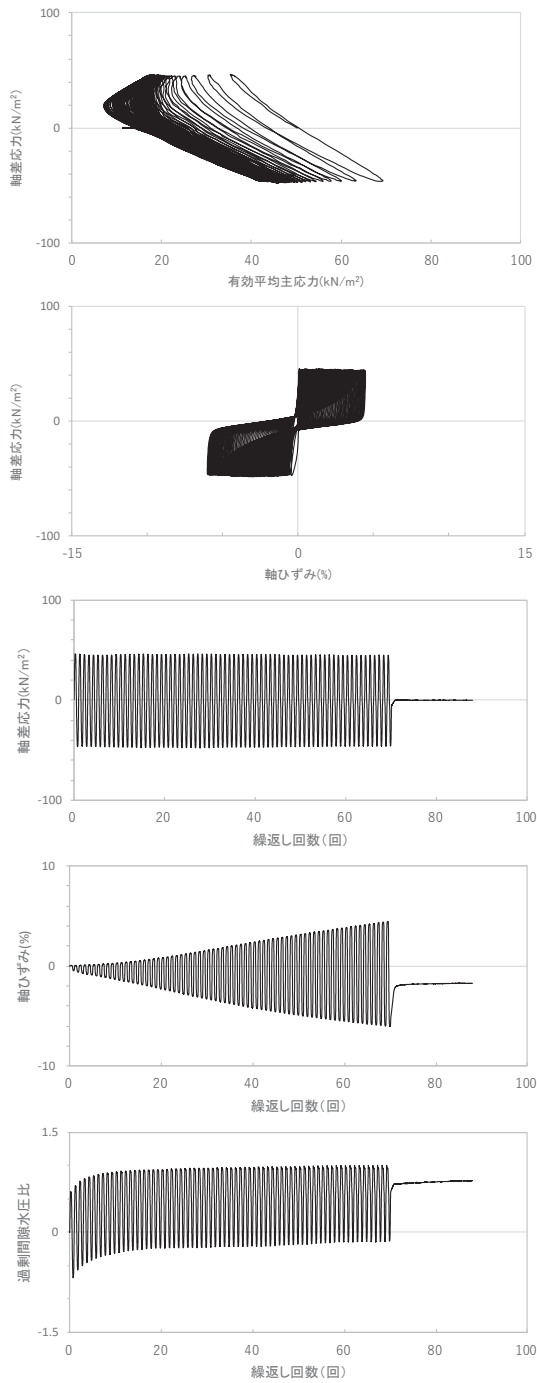
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-23 液状化強度試験結果
(B-2-2 試料 (供試体 No. 3))



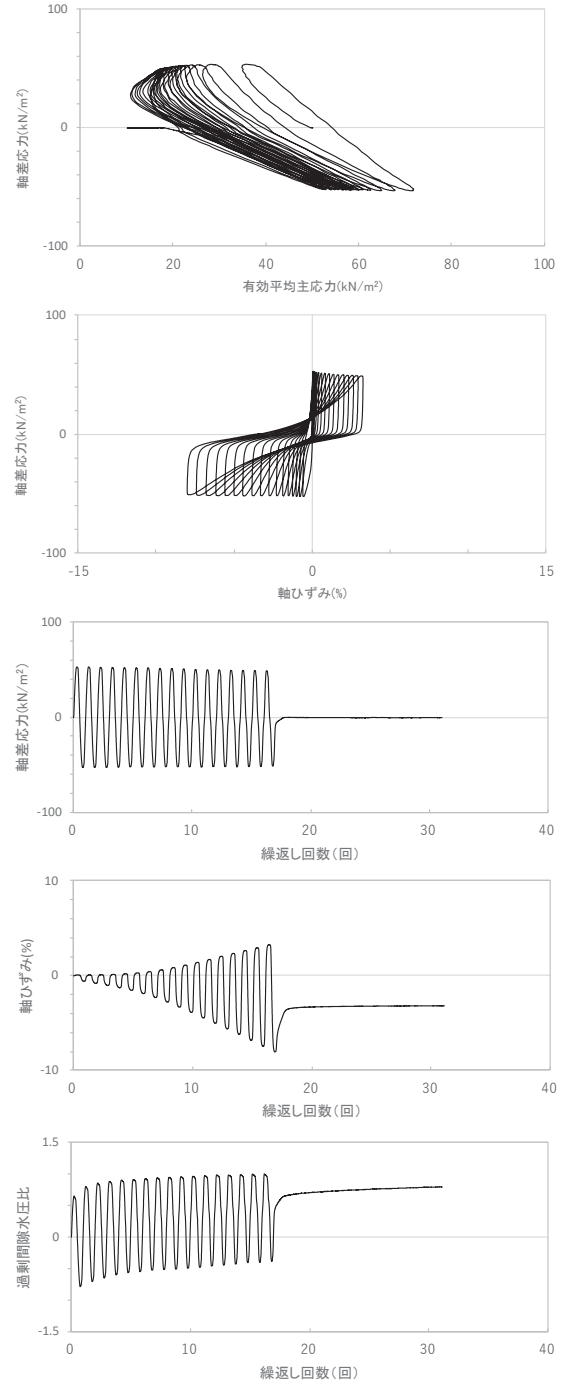
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-24 液状化強度試験結果
(B-2-2 試料 (供試体 No. 4))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-25 液状化強度試験結果
(B-3 試料 (供試体 No. 1))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-26 液状化強度試験結果
(B-3 試料 (供試体 No. 2))

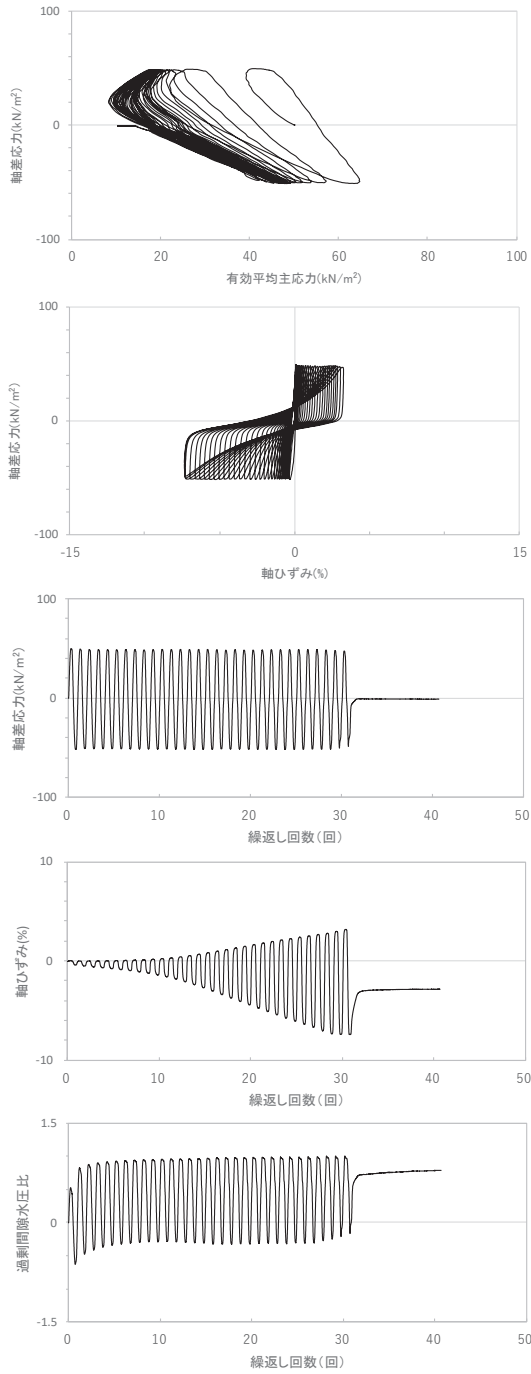


図 2.1-27 液状化強度試験結果
(B-3 試料 (供試体 No. 3))

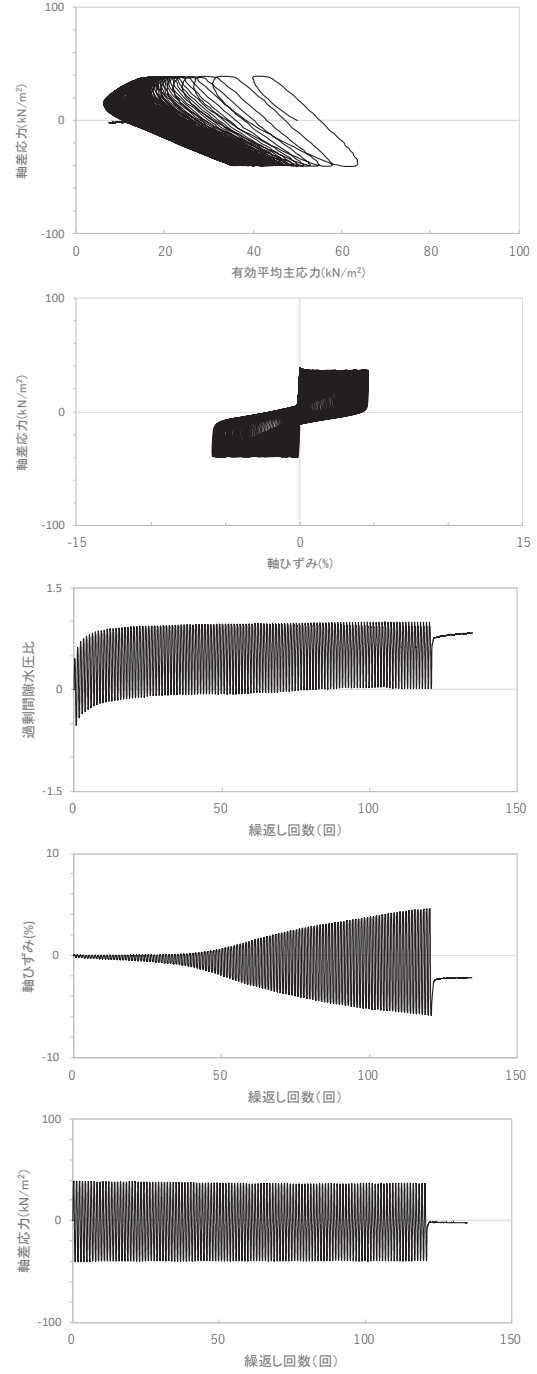
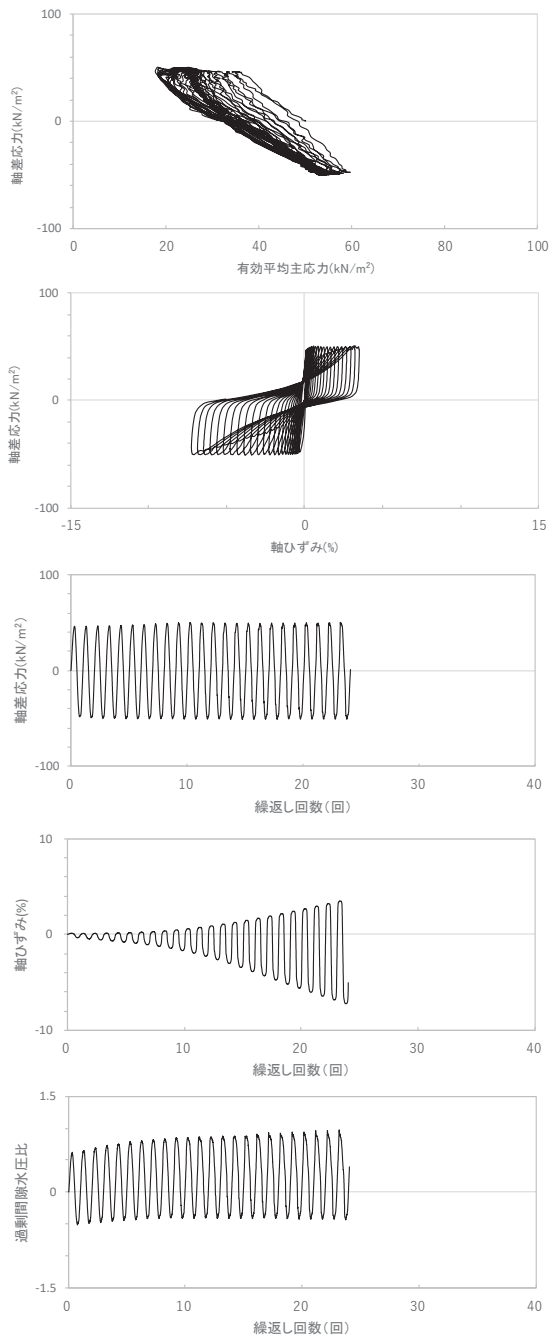


図 2.1-28 液状化強度試験結果
(B-3 試料 (供試体 No. 4))

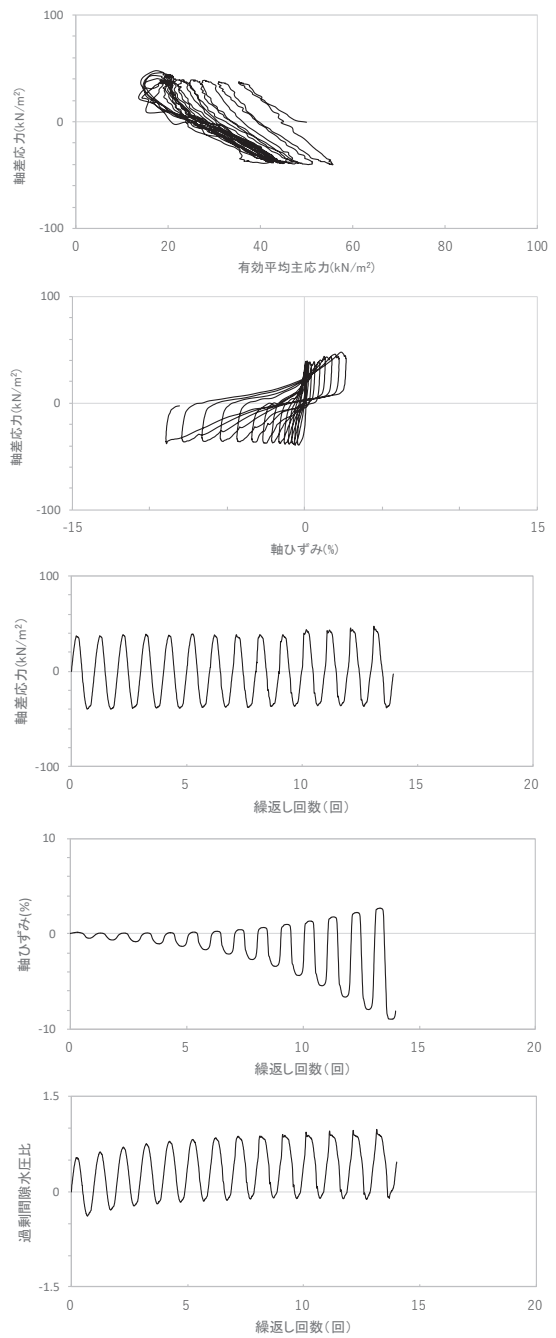
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	



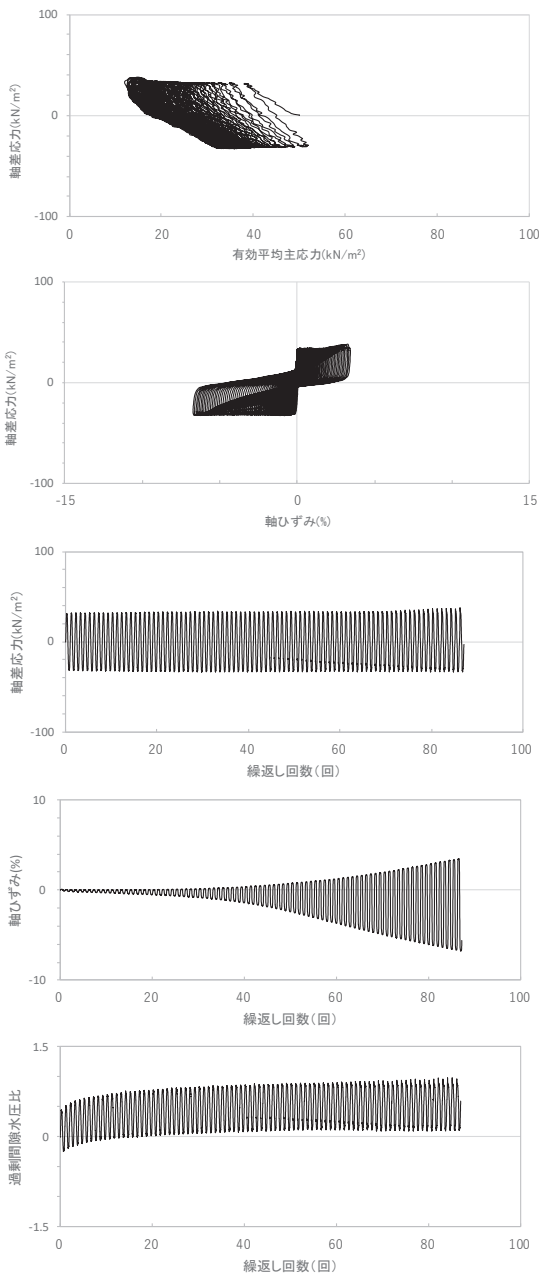
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-29 液状化強度試験結果
(B-4 試料 (供試体 No. 1))



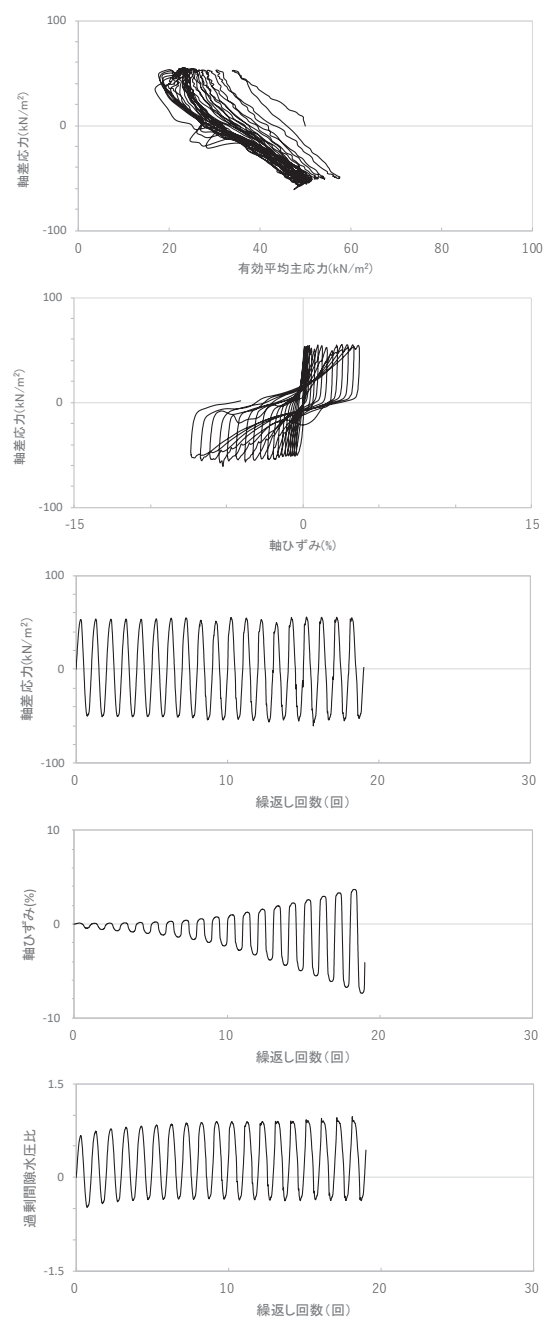
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-30 液状化強度試験結果
(B-4 試料 (供試体 No. 2))



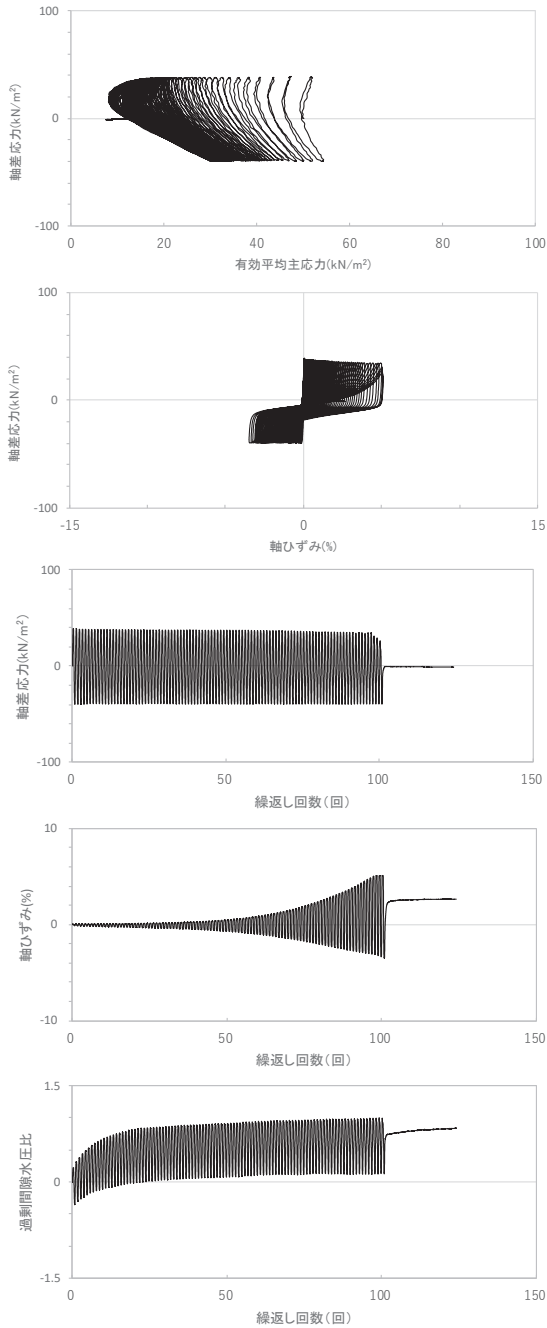
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-31 液状化強度試験結果
(B-4 試料 (供試体 No. 3))



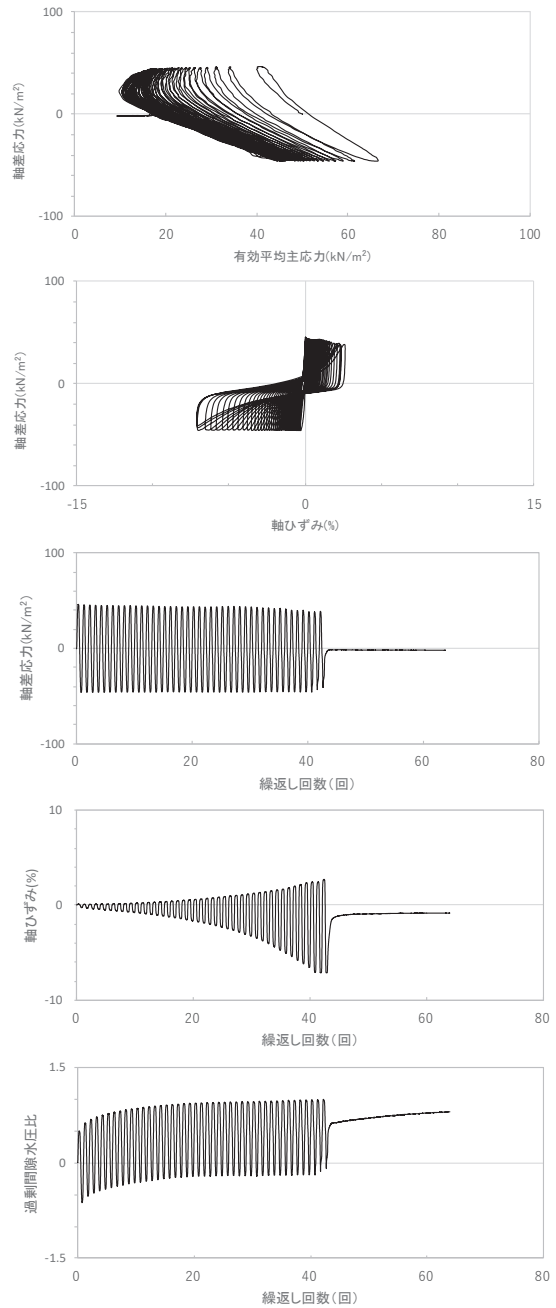
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-32 液状化強度試験結果
(B-4 試料 (供試体 No. 4))



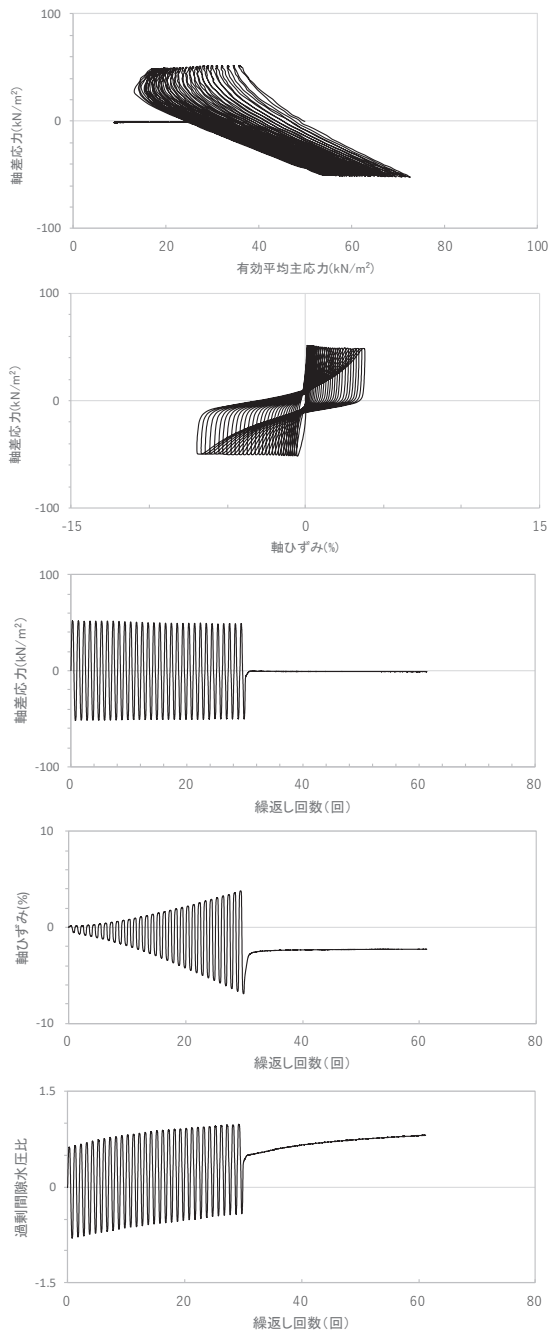
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-33 液状化強度試験結果
(B-5 試料 (供試体 No. 1))



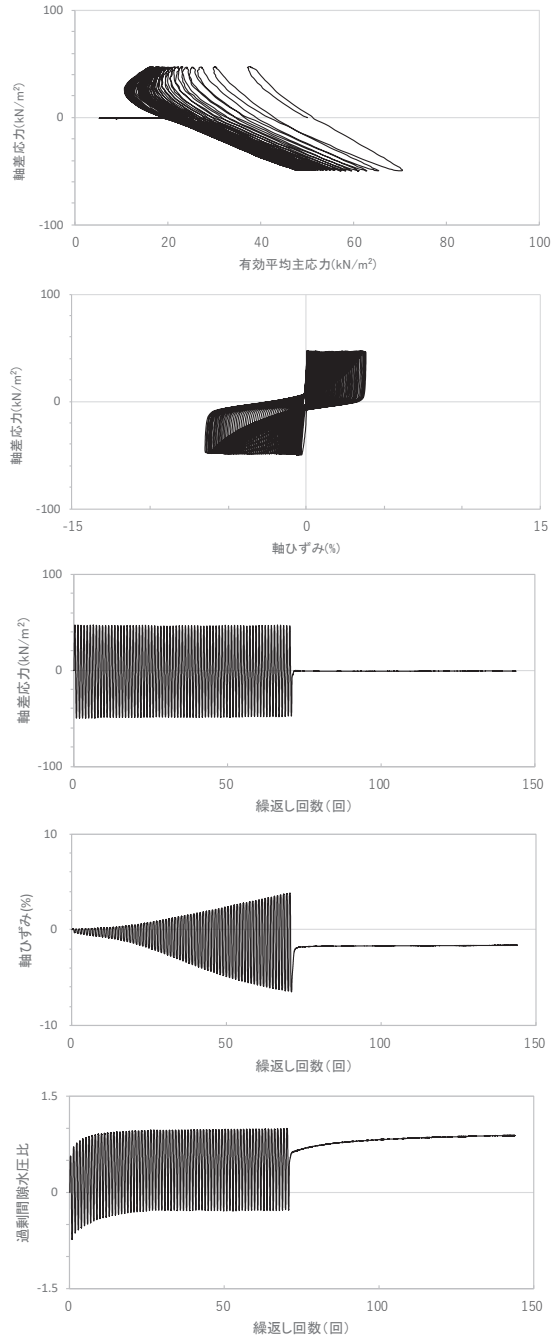
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-34 液状化強度試験結果
(B-5 試料 (供試体 No. 2))



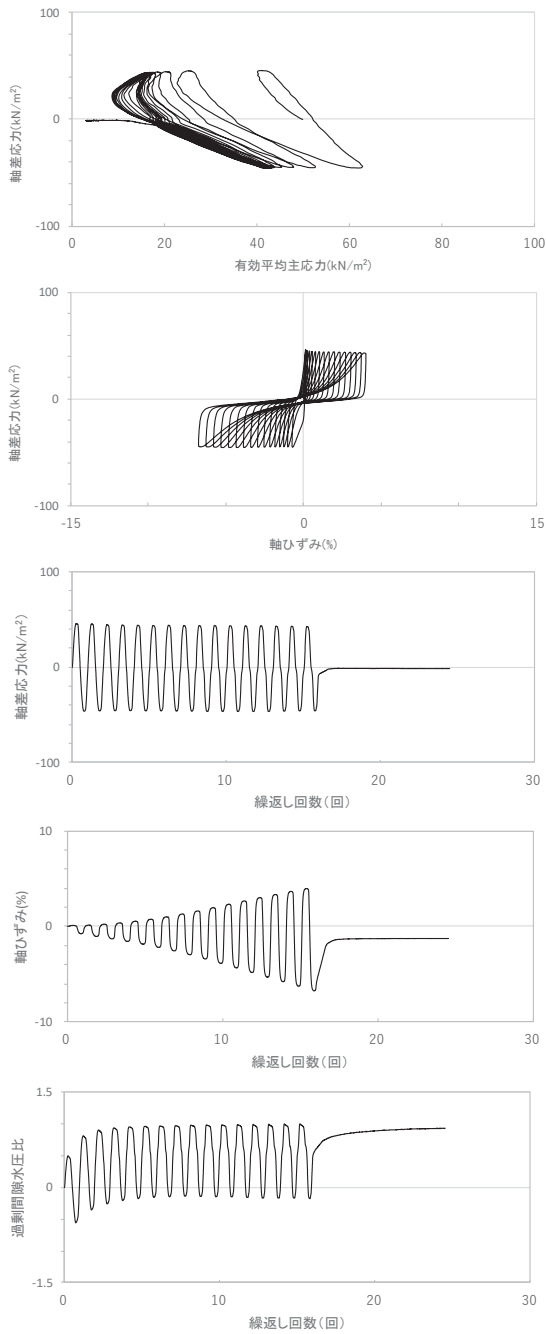
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-35 液状化強度試験結果
(B-5 試料 (供試体 No. 3))



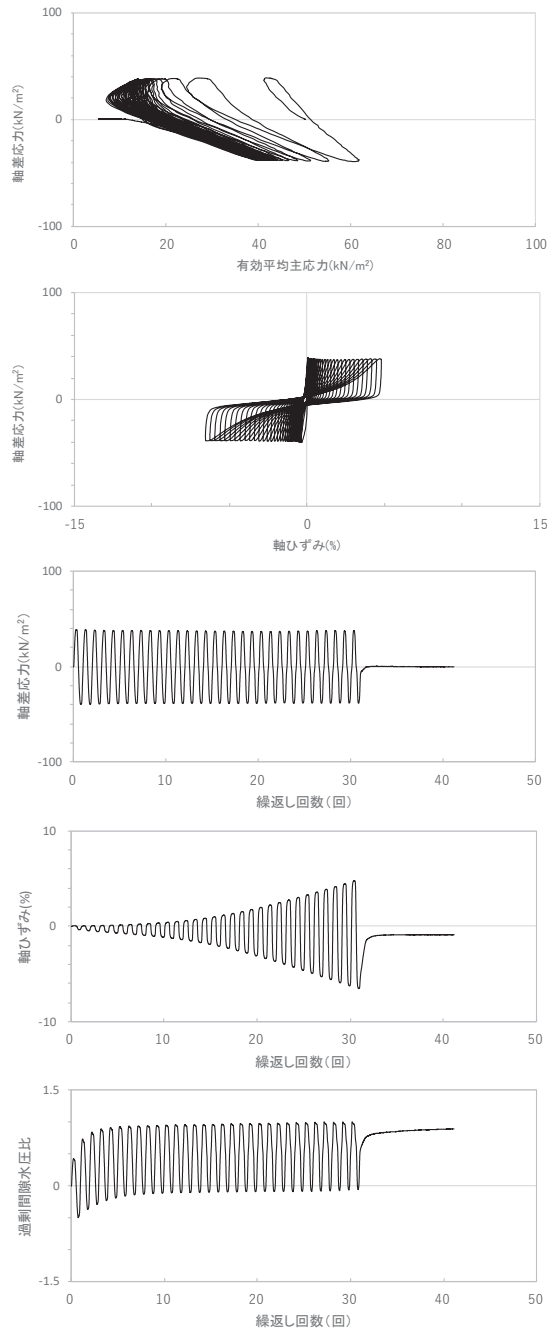
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-36 液状化強度試験結果
(B-5 試料 (供試体 No. 4))



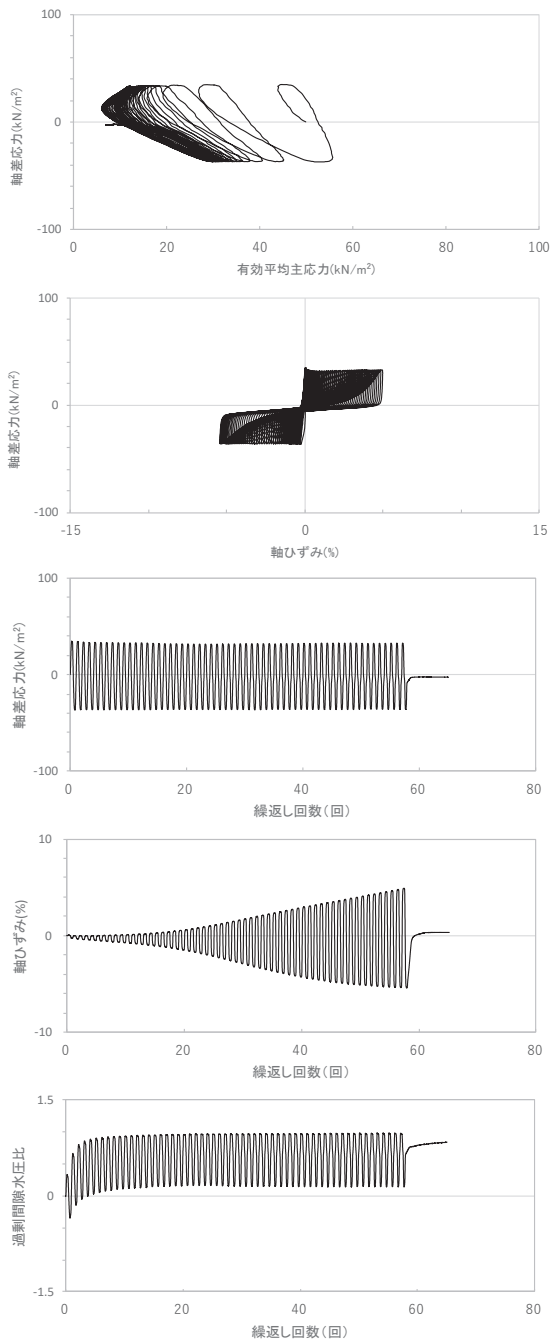
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-37 液状化強度試験結果
(B-6 試料 (供試体 No. 1))



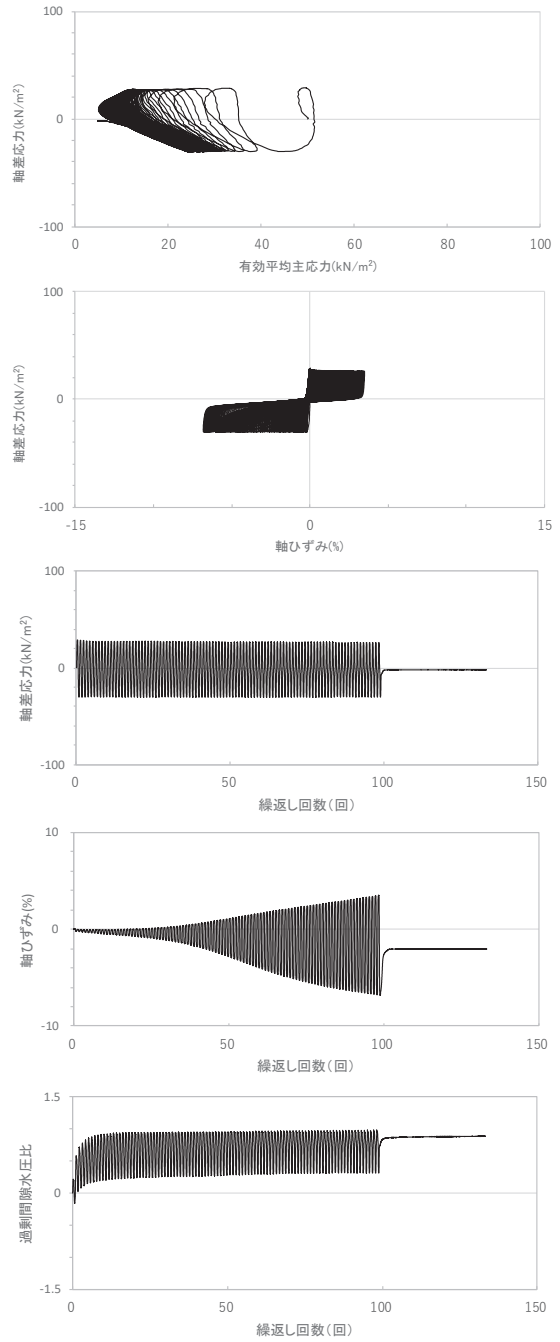
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-38 液状化強度試験結果
(B-6 試料 (供試体 No. 2))



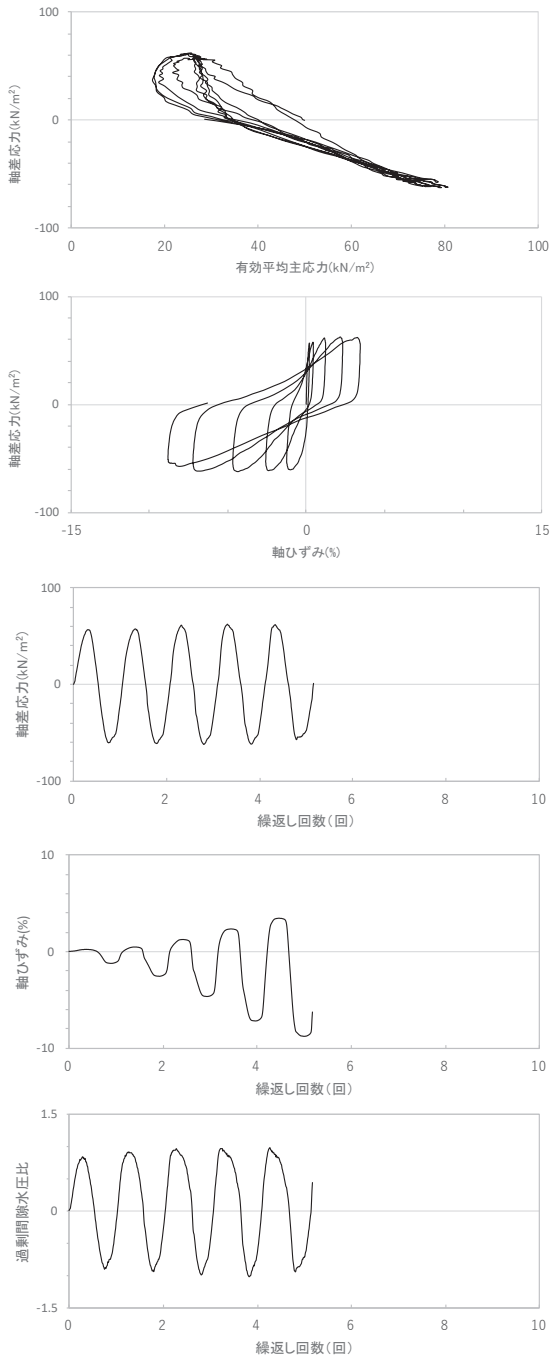
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-39 液状化強度試験結果
(B-6 試料 (供試体 No. 3))



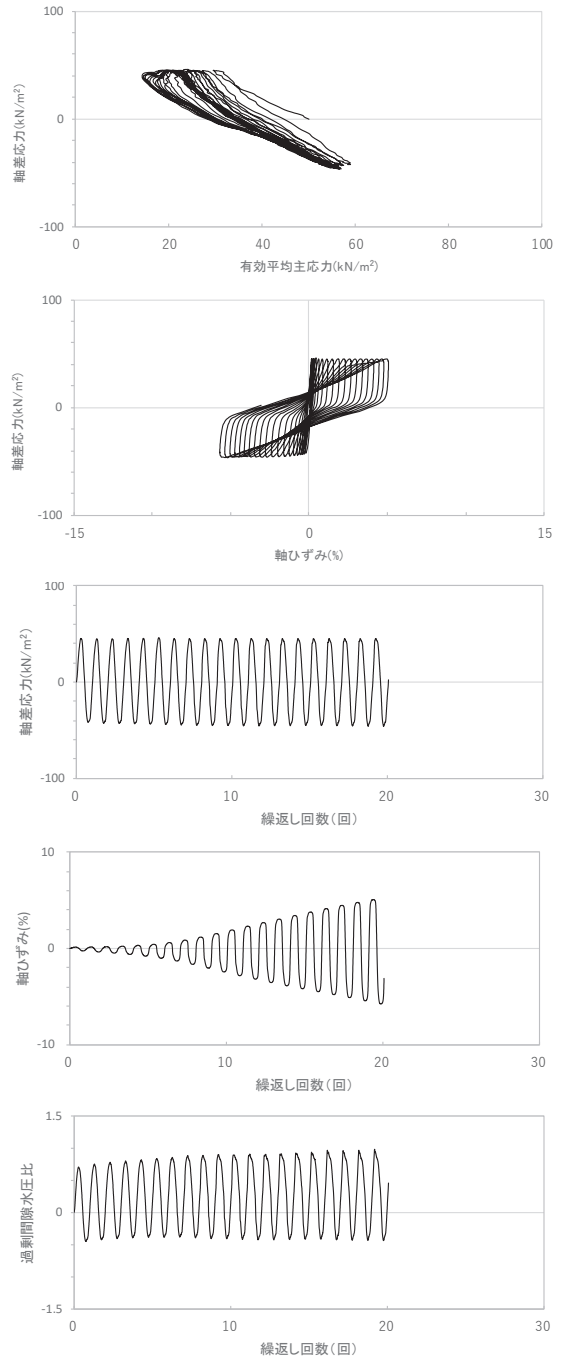
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-40 液状化強度試験結果
(B-6 試料 (供試体 No. 4))



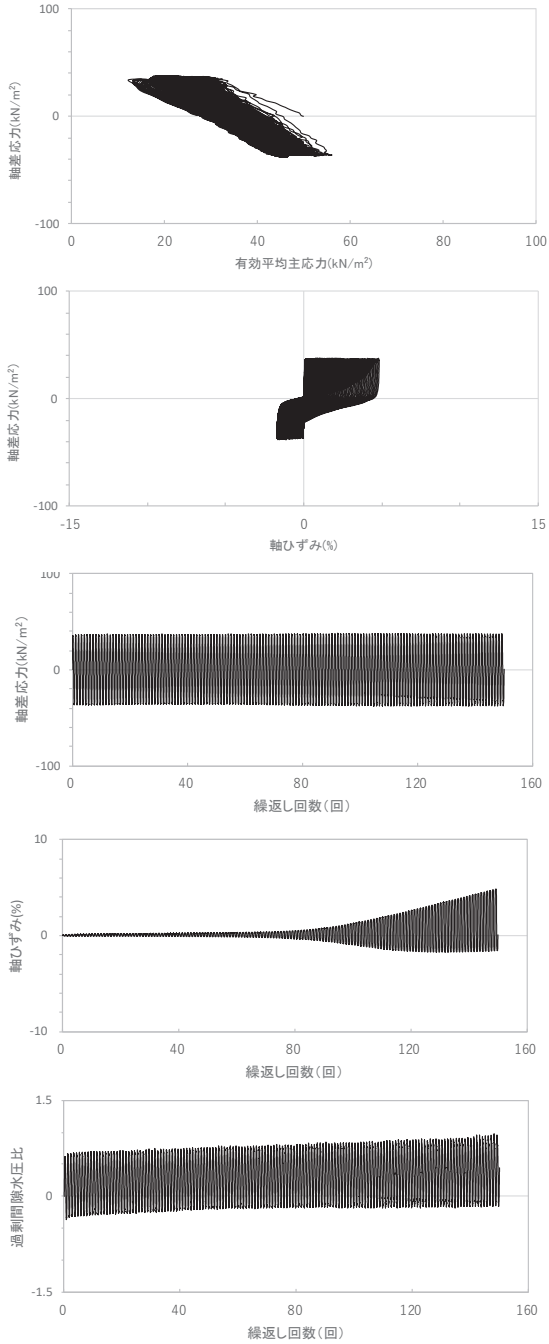
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-41 液状化強度試験結果
(B-7 試料 (供試体 No. 1))



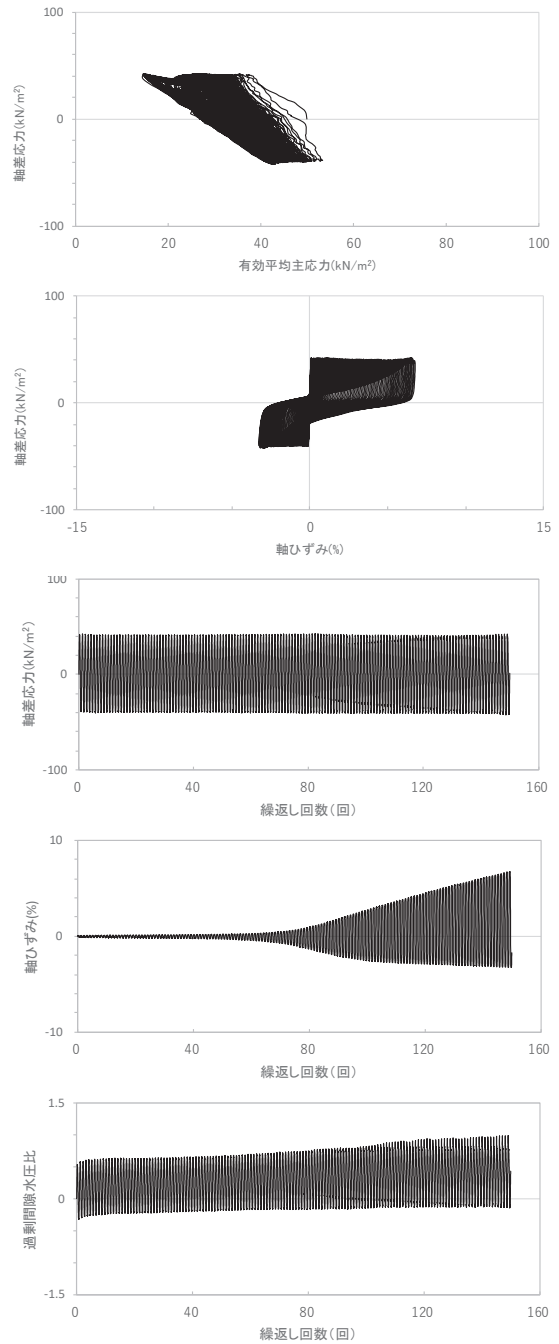
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-42 液状化強度試験結果
(B-7 試料 (供試体 No. 2))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-43 液状化強度試験結果
(B-7 試料 (供試体 No. 3))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-44 液状化強度試験結果
(B-7 試料 (供試体 No. 4))